

令和6年度予算概要（案）

（個別政策資料編）

箕輪町

1-1	新たな安全安心のまちづくり推進	-1-	21	農業次世代人材支援事業	-27-
1-2	安全安心のまちづくり推進事業	-2-	22	地域計画（旧人・農地プラン）策定	-28-
2	みのわ大規模震災対策	-3-	23	有機農業推進事業	-29-
3	庁舎周辺ゼロカーボン推進事業	-4-	24	森林ビジョンに基づく取組み	-30-
4	2050ゼロカーボンみのわ	-5-	25	森林環境整備の取組み	-31-
5	箕輪町DX推進事業	-8-	26	みのわテラスを核とした農業振興・地域活性化の取組み	-32-
6	SDGs（持続可能な開発目標）	-10-	27	もみじ湖観光事業	-33-
7	地域交通対策事業	-11-	28	観光施設整備事業	-34-
8	男女共同参画事業	-12-	29	産業DX推進事業	-35-
9	結婚支援事業	-13-	30	まちなかのにぎわい創出	-36-
10	防災交流施設整備事業	-14-	31	デジタルマップ	-37-
11	移住定住促進事業	-15-	32	雨水排水対策事業	-38-
12	重層的支援体制整備事業	-16-	33	重要給水管老朽管更新	-39-
13	相談事業	-17-	34	にじいろ学びステーション	-40-
14	第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画	-18-	35	子育て世帯経済対策	-41-
15	健康増進事業	-19-	36	ICT教育支援	-42-
16	みのわ減塩大作戦！2024	-20-	37	町民体育館及び武道館の耐震改修リニューアル事業	-43-
17	自殺対策	-21-	38	郷土博物館リニューアル事業	-44-
18	子育て支援対策	-22-	39	『箕輪町誌』新現代編（仮称）編さん事業	-46-
19	こども計画（仮称）策定	-25-	40	読育推進事業 移動図書館車更新	-47-
20	子どもの居場所づくり推進事業	-26-	41	「町長への手紙」・「地区懇談会」	-48-

1-1 新たな安全安心なまちづくりの推進 R6当初予算額：2,142千円

国際認証の満了

箕輪町とセーフコミュニティ（経過と成果）

セーフコミュニティは、「事故やケガは原因を調べて対策を行うことにより予防できる」という考えのもと、生活に身近な事故やケガの状況を統計的に分析し、みんなで原因や対策を考え、活動し、地域全体で安全安心なまちづくりを推進しよう、という国際認証制度です。

認証取得という目標設定により、「安全安心は与えられるものではなく、自分たちで作る」という自治意識が醸成されてきました。

箕輪町では、平成22年に取組みを開始し、平成24年に認証を取得、平成29年に再認証を取得しました。

この10余年の取組みを通して、各分野で下記のような数値的成果がありました。（各分野で代表的なもの）

【交通安全】人身交通事故：72.7%減少（128件⇒35件）

【子どもの安全】0～6歳児の救急搬送：41.6%減少（12件⇒7件）

【高齢者の安全】浴室での救急発生：41.9%減少（31件⇒18件）

【くらしの安全】緊急情報配信サービスへの登録：2.2倍増加
（3,535人⇒7,748人）

【自殺予防】こころの相談：2.7倍増加（14件⇒38件）

課題と対応

セーフコミュニティの国際認証には、海外審査員の渡航費や提出資料の英訳などに多額の費用がかかることや、取組み自体に対する町民の関心や認知度が低く、活動のマンネリ化が課題となっていました。

また、5つの分野で地域や関係機関と意見交換を行い、課題と向き合うことで協働によるまちづくりを進めてきたことや、各種データの収集や活動の中で、安全安心に関わる様々な組織との独自のネットワークが構築されてきました。

こうしたことから、セーフコミュニティ国際認証の更新は行わず、これまでの活動で培った協働の精神やネットワークを活かし、新たな安全安心のまちづくりを推進することとしました。

新たな取組み

「箕輪町安全安心のまちづくり条例（仮称）」の制定

【目的】

犯罪、事故、自然災害等を未然に防止したり被害を最小化するなど、住民が安心して暮らすことのできる安全なまちづくりについて、基本理念や町、町民、事業者等の責務を定め、それぞれが連携して協力することにより、安心して暮らすことができる安全な地域社会の実現を図ること。

【スケジュール】

令和6年度（前期）：素案作成、審議会等での意見聴取、パブリックコメントの募集

〃（後期）：条例の制定、推進計画作成、推進会議の開催

なお、条例、推進計画の策定や推進会議の運営の補助、活動を多くの方に知ってもらうための広報について、民間のシンクタンク等にアドバイザーを委託し、効果的かつ持続可能な取組みを推進します。

【対象とする分野】

高齢者の安全、防災、防犯、地域交通、多文化共生

【予算】

委員報酬等・需用費・委託料 1,442千円

【継続】地域における安全安心活動の推進

各区の協議会が主体的に企画した、地域の安全安心を推進する活動に関わる経費に対して補助を行います。

交通安全対策、防災対策、地域の支えあいなど、各区で課題と対策を自由に検討していただいております、各区の安全安心な地域づくりの重要な事業となっています。

・安全安心まちづくり推進補助金（7地区） 700千円

1-2 安全安心のまちづくり推進事業

R6当初予算額：26,945千円

新

① 安全安心パトロール隊 5,399千円

令和元年度から専任の職員2名がパトロール車による町内の巡回を行い、子どもの見守り活動や地域の防犯活動、交通安全活動を実施しているほか、庁内各課と連携した業務も行っています。

今後も町民に直接呼びかけることにより、町民の防犯意識・交通安全意識を高め、犯罪・事故の抑止につなげていきます。

【令和4年度の活動実績（主なもの）】

活動日数：230日 活動時間：約1,726時間

道路標識・看板等の新設、修繕、取替え：220箇所

道路損壊箇所の発見及び報告：54箇所

事故・火災等の緊急事案への対応：11件



② 防犯外灯の拡充 3,063千円

各区からの要望のあった27箇所に防犯外灯を新設します。

③ 夜光反射材の着用促進 201千円

夜間の歩行者事故を防ぐため、夜光反射材の着用について、広報等での着用啓発や公民館など公共施設での貸し出しを継続し、普及啓発します。



④ 自転車用ヘルメット購入補助 450千円

通学等での自転車利用が多い16歳～18歳の高校生年代のヘルメット着用を促進し、自転車利用時の安全性を向上させるため、購入費用を補助します。



⑤ 運転免許自主返納の促進 1,000千円

運転に不安のある高齢ドライバーの免許返納を後押しし、交通事故を防ぐため、平成30年度から実施している運転免許証自主返納支援補助金による支援を継続します。

支援額：1万円

支援実績：H30：77人、R元：118人、R2：85人、R3：91人、R4：86人



⑥ 交通安全対策のための施設整備 16,832千円

通学路や事故頻発箇所など、各区やPTAから要望のあった箇所にカーブミラーや看板等の設置、カラー舗装といったハード対策や施設の修繕を実施します。（学校教育課、建設課、総務課）

【予定している対策】

- ・カーブミラーの新設、取替：29箇所（新設13、取替等16）
- ・カラー舗装、路面標示：12箇所（カラー舗装4、路面標示等8）
- ・交通安全看板等の設置：5箇所
- ・グリーンベルト：3箇所
- ・転落防止柵：1箇所
- ・交通安全施設の修繕：不点灯となった外灯の取替え等、応急的な修繕



2 みのお大規模震災対策

【予算額】 令和5年度：10,492千円
令和6年度：19,458千円
令和7年度：13,024千円



直近に発生した大地震を教訓に発災に備え、「**自分の命は自分で守る**」という自助の意識のもと、生活必需品の備蓄など住民の防災意識を高めて最低限の必需品を準備いただくよう普及・啓発に努める一方で、**大規模震災時**に住民が必需品を自力で確保できない状況を想定し、**公助としての備蓄**を進めます。

また、避難生活が中・長期化した場合を想定し、**避難所におけるTKB（トイレ、キッチン、ベッド）を中心とした生活環境の向上**を目指して、令和5年度からの**3年間で、重点的に防災備蓄を進めるとともに、消防施設（消火栓）の機能点検・修繕**を行います。

災害と被害の想定

- （平成27年3月 長野県地震被害想定調査報告書より）
・糸魚川-静岡構造線断層帯の地震（南側）による最大被害
場面：冬、18時、強風時
指定避難所への最大避難者数：4,560人（被災2日後）
※箕輪町で最多の避難者が想定されるケース

① トイレ関連物品

各指定避難所の面積から収容可能人数を算出し、必要なトイレ（便器）を整備
上下水道が機能停止することを想定し、各指定避難所の既存トイレの便器に取り付けるアタッチメント、簡易トイレ、携帯トイレを備蓄
<3年間の整備計画> ※（ ）は令和5年度時点の備蓄済量
携帯トイレ+組立式トイレ 82式（82式）
携帯トイレ（便袋） 59,820枚（15,820枚）
便器アタッチメント 大250枚、小150枚（大250枚、小150枚）
備蓄用トイレ用紙 996ロール（240ロール）
除菌ウェットティッシュ 96箱（20箱）
組立式個室トイレ（便槽付） 8基（3基）

② 避難所開設物品

指定避難所を第2次避難所まで開設することを想定し、避難所運営に必要な物品を整備（第2次避難所17箇所分）

③ 備蓄食

レトルト食や長期保存パンの備蓄（14,000食、7年サイクル）

④ 保存水

災害用保存水の備蓄（14,000ℓ、12年サイクル）

⑤ 災害用毛布、アルミ折畳みマット

【災害用毛布】（4,560人分、計9,120枚）
現在の備蓄（1,580枚）を漸進的に強化⇒500枚/年
【アルミ折畳みマット、簡易ベッド等】
体育館等のフローリング床の防寒対策として備蓄



⑦ 自主防災組織の育成・防災士の養成

- ・自主防災組織の活動を支援するための補助金交付
- ・地域の防災力向上のための防災士資格取得に対する補助金交付

⑧ 消火栓機能点検・修繕

消防団報告の操作に支障のある消火栓（204基）の機能点検調整

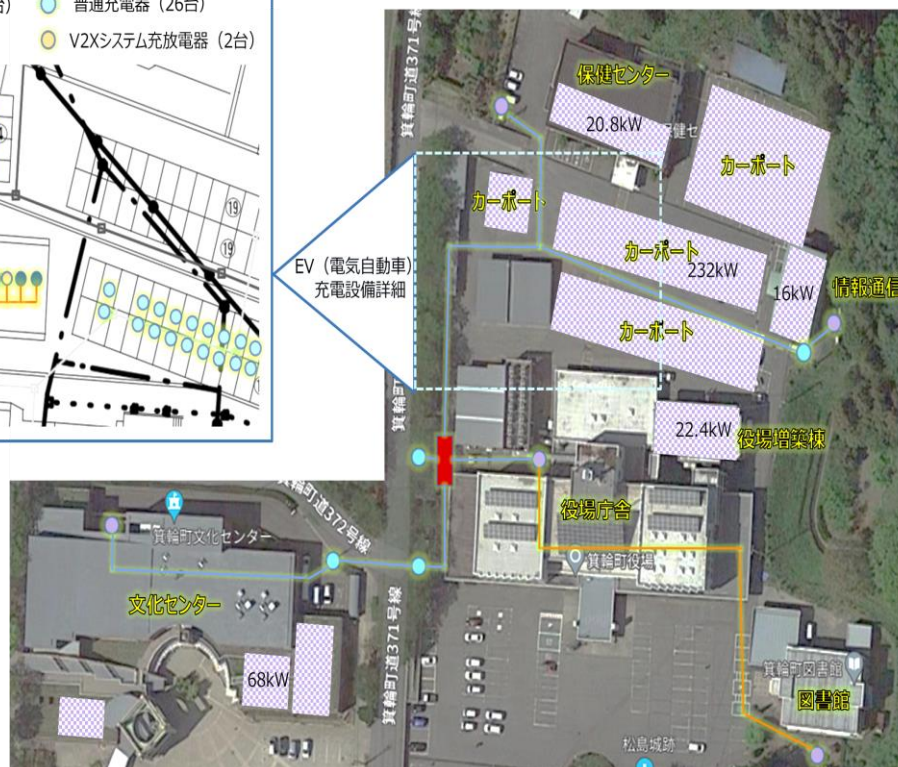
3 庁舎周辺ゼロカーボン推進事業（令和5年度繰越事業）

凡例： 太陽光パネル 自営線新設機器 自営線既存機器 電柱 高压ケーブル 低压ケーブル

急速充電器（2台） 普通充電器（26台）
V2Xシステム充電器（2台）



EV（電気自動車）
充電設備詳細



I 太陽光の設置でクリーンエネルギーを**創電**します。創った電気を蓄電池に蓄電することで、創電分を夜間等に使用することが可能となり、買電量を減らすことで、**CO2排出量の削減**に寄与します。

II ガソリン車からEVへの更新を進めるとともに、V2X装置を設置し、EV公用車の蓄電機能を活用することで、公共施設への電力供給を可能にし、**電気の地産地消とレジリエンス強化**を目指します。

N O	箇 所	内 容	備 考
1	役場庁舎北側駐車場	ソーラーカーポート等整備工事	全面舗装改修、雨水排水設備改修等含む
2	役場庁舎増築棟	太陽光設備設置・蓄電池設備設置	太陽光パネルはPPA方式で導入
3	役場庁舎北側駐車場	公用車用充電器設備・V2Xシステム設置工事	急速充電器2台 普通充電器26台 V2X機器2台
4	情報通信センター	太陽光設備設置・空調設備更新工事	太陽光パネルはPPA方式で導入
5	保健センター	太陽光設備設置	太陽光パネルはPPA方式で導入
6	文化センター	太陽光設備設置	太陽光パネルはPPA方式で導入
	参考	照明LED化（庁舎、保健センター、情報通信センター） EV公用車購入（普通1,軽5）	

※太陽光発電量359.2kwh、太陽光面積2,348㎡を予定

繰越予算総額
1,109,726千円

2023年度 (令和5年度)				2024年度（令和6年度）												2025年度（令和7年度）			
月				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
交付金事業	PPA事業	太陽光発電設備	▼事業協定締結												▼PPA締結				
			設計・工事計画								現地工事（屋根）				コミッションング				
	自営線・EMS	▼設計施工契約												▼運用開始					
		製作設計		受変電機器調達（8ヵ月）								据付・調整							
		製作設計		工事計画						幹線工事									
				EMS設計・装置調達（6ヵ月）						EMS現地工事・調整									
情報通信センター空調	製作設計		空調機器調達（4ヵ月）								据付調整		検査						

4 2050ゼロカーボンみのわ推進事業

令和6年度予算額：1億878万円（うち再エネ推進交付金7,303万円）

1年目の成果として約160件の補助金利用があり、太陽光発電設備160kW、蓄電設備330kWh、太陽熱利用システム24件の整備が行われ、年間約90t-CO₂を削減しました。2年目は新たに新築住宅及び事業所における太陽光発電設備等の導入を補助対象とし、ゼロカーボン実現に向けての取り組みを強力に推進します。引き続き太陽エネルギー活用による創エネと住宅の断熱化による省エネ及びライフスタイルの変容を促し、ゼロカーボンにつながる新しい快適で豊かな暮らしと持続可能な地域社会づくりを目指すとともに、災害時等における停電対策など地域防災力強化を図ることを目的に補助事業等を実施します。

1 太陽光発電・蓄電・太陽熱設備の導入補助 9250万円

①太陽光発電設備・蓄電設備の導入(重点対策加速化事業分)

- A：新築・既存住宅に設置する太陽光発電設備 60件 5000万円
1kW当たり10万円（上限100万円）
B：定置型蓄電設備 25件 1050万円
新築・既存住宅に設置し、Aの太陽光発電設備と常時接続する蓄電設備
補助率3分の1 1kWh当たり6万円（上限42万円）
C：事業所に設置する太陽光発電設備 4件 1200万円
1kW当たり6万円（上限300万円）

②太陽熱利用システムの導入(重点加速化事業分)

- C：既存住宅に設置する太陽熱利用システム 30件 1800万円
補助率3分の2（上限60万円）

③蓄電設備の導入(町単分) (①-Bとの併用不可・県補助併用可)

- D：既に太陽光発電設備が住宅に設置されており、蓄電設備を設置するもの 4kWh以上のもの1件10万円20件 200万円

2 住宅の断熱化推進補助 750万円

①窓・ドア・その他の改修(町単分)

- 開口部（窓ガラス等）の単板ガラスを複層ガラスに替える工事
○新たなサッシを設置して、二重サッシとする工事
○屋根、壁、床等に断熱材を設置する工事
補助率2分の1（上限15万円）50件 750万円

※国・県等の補助事業との併用可（ただし補助残の2分の1）



3 EV・V2H導入補助 200万円

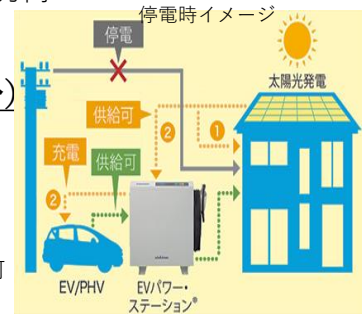
①EV・PHVの導入(町単分)

- EV購入者に対する補助 10台 100万円
C EV補助金の10分の1（上限10万円）

②V2H充放電設備の導入(町単分)

- OV2H導入者に対する補助 10基 100万円
C EV補助金の10分の1（上限10万円）

※①②とも国・県等の補助事業との併用可



ゼロカーボン推進

4つの取り組み

2030年度CO₂ 56%削減

4 その他の取り組み 678万円

①健康e eねポイント事業(継続)

- ゼロカーボンに資するeco（エコ）でethical（エシカル）な取り組みに対して、みのちゃんポイントを付与します。
1千円×500人 500万円

②啓発・もったいないキャンペーン+の実施(継続)

- 住民の地球温暖化問題やゼロカーボンの取り組みへの意識等の向上を図り、一人ひとりがゼロカーボンに取り組んでもらえるよう、継続的な街頭啓発活動を実施します。
408万円

③住宅用PPA導入推進協力金(町単分)

- PPAにより住宅へ太陽光発電設備を導入1件1万円 20件 20万円

④ペレットストーブの導入補助

- 10件（上限20万円）200万円

令和 6 年度当初予算 ゼロカーボン関連予算一覧表①

総事業費 ： 369,258千円
国県支出金： 158,469千円
起 債 ： 47,300千円
一般財源 ： 163,489千円

No.	担当課	事業名	概 要	事業費 (千円)	財源内訳（千円）		
					国・県	起債	一般財源
1	ゼロカーボン推進室	太陽光発電設備等設置補助金	（住民・事業所向け）太陽光・蓄電池・太陽熱利用システム設置に対する補助金（事業所は太陽光のみ）	92,500	71,925	0	20,575
2	ゼロカーボン推進室	電気自動車購入補助金	（住民向け）電気自動車等（EV・FCV）購入に対する補助金	1,000	0	0	1,000
3	ゼロカーボン推進室	V2H充放電設備導入補助金	（住民向け）V2H充放電設備導入に対する補助金	1,000	0	0	1,000
4	ゼロカーボン推進室	住宅断熱リフォーム補助金	（住民向け）住宅断熱リフォーム改修に対する補助金	7,500	0	0	7,500
5	ゼロカーボン推進室	太陽光設備等導入推進協力金	（住民向け）P P A等によって太陽光発電設備等の導入に対する協力金	200	0	0	200
6	ゼロカーボン推進室	補助金申請等受付事務委託料	ゼロカーボン推進補助金申請・実績報告等の受付事務	912	911	0	1
7	みどりの戦略課	農業用施設エネルギー転換促進事業補助金	（農業用施設）省エネルギー施設へ転換に対する補助金	9,000	0	0	9,000
8	みどりの戦略課	堆肥利用促進事業補助金	（住民向け）堆肥購入費の一部を助成	1,000	0	0	1,000
9	みどりの戦略課	ペレットストーブ等設置事業補助金	（住民向け）ペレットストーブ購入に対する補助金	2,000	150	0	1,850
10	商工観光課	省エネ最適化診断補助金	（事業所向け）省エネ最適化診断費用に対する補助金	105	0	0	105

令和 6 年度当初予算 ゼロカーボン関連予算一覧表②

No.	担当課	事業名	概 要	事業費 (千円)	財源内訳（千円）		
					国・県	起債	一般財源
11	ゼロカーボン推進室	周知啓発・環境学習等	街頭啓発、小学校（5校）環境学習出前授業、イベント、補助金活用相談会開催等	4,085	1,378	0	2,707
12	ゼロカーボン推進室	健康eeねポイント事業	エコでエシカルな消費生活の推進（みのちゃんポイント贈呈） （健康ポイント事業とのタイアップ）	500	0	0	500
13	ゼロカーボン推進室	再エネ設備系統接続負担金	中部電力への系統接続検討負担金	660	0	0	660
14	ゼロカーボン推進室	その他ゼロカーボン推進に関する経費	セミナー・推進会議、調査費、プロモーション動画制作等	4,322	610	0	3,712
15	施設所管課	照明 L E D 化リース事業	げんきセンター・げんきセンター南部・保育園5園・若草園・子育て支援センター・みのわテラス3施設・全小中学校・西部ふれあいサロン・ながたドーム・文化センター及び周辺街灯・地域交流センター・番場原第1グラウンド・沢グラウンド・屋外運動場周辺街灯・中原文化財調査施設・ながた荘・ながたの湯	24,321	0	0	24,321
16	商工観光課	夢まちLabo太陽光設置事業	太陽光23kw設置（PPA方式による）	3,415	3,415	0	0
17	商工観光課	ながたの湯、ながた荘太陽光設置事業	ながたの湯太陽光30kw・ながた荘太陽光29 k w 設置（PPA方式による）	8,681	8,681	0	0
18	学校教育課	箕輪中学校太陽光・蓄電池設置事業	太陽光100kw増設・蓄電池60kwh	148,831	63,247	43,900	41,684
19	文化スポーツ課	博物館太陽光設置事業	太陽光10kw設置	3,617	1,483	1,100	1,034
20	文化スポーツ課	社会体育館照明LED化事業	未施工箇所（トイレ・ステージ等）のLED化	6,138	3,069	2,300	769
21	総務課他	E V 公用車購入	電気自動車購入（6台 普通1・軽5）	20,071	3,600	0	16,471
22	学校教育課他	R 7 年度重点対策整備事業分CM業務	中部小・東小・西小、産業支援センター、みのわテラス4施設の基本計画策定・発注支援業務	26,400	0	0	26,400
特会	水道課	上水道・下水道施設 照明器具LED化事業	上水道・下水道施設 照明器具 L E D 化工事	3,000	0	0	3,000
計				369,258	158,469	47,300	163,489

5 DX推進事業（令和5年度末）

実施済
未実施

	取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
国重点取組事項 自治体DX推進計画	自治体フロントヤード改革の推進 NEW	-	-	-	フロント・バックヤード改革実施	
	自治体情報システムの標準化・共通化	広域連合が主体となりR 7までにGov－Cloudへ移行				
	公金収納におけるeLTAXの活用 NEW				公金収納におけるeLTAXの活用検討	
	マイナンバーカード普及促進・利用の推進	交付率65.5%	コンビニ交付手数料大幅引下	カードの利活用検討		
	セキュリティ対策の徹底	R 3セキュリティポリシー改訂 随時見直し				
	自治体のA I / R P Aの利用推進	WG見直し	標準化・共通化後を見据えた検討	適用事務検討		
	テレワークの推進	R 3テレワーク環境構築済		テレワークの積極的な推進		
町重点取組事項	(住民の利便性向上) 電子決済	適用事務検討	一部適用	決済手段等拡充		
	(住民の利便性向上) オンライン予約	システム導入	予約状況閲覧・予約受付開始	システム安定稼働		
	(住民の利便性向上) 窓口手続き簡素化	窓口簡素化検討		お悔み手続き簡素化	書かない窓口検討	
	(業務効率化) ペーパーレス	内部会議資料削減		全戸配布・庁内プリンタ環境見直し		
	(業務効率化) 電子決裁	システム導入	システム運用	システム運用、データ蓄積		
	デジタル人材の育成 E B P M	客観的な数値に基づく政策決定、データ分析ができる人材の育成				

R6年度 主なDX関連新規予算一覧

総務課 DX推進室

No	事業名	目的	内容	初期費 (千円)	運用費 (千円/年)	担当課
1	町ホームページ更新	事務効率化・住民サービス向上	ホームページのリニューアルを行い、閲覧者の利便性、検索性の向上を図る。	17,000	2,193	企画振興課
2	都市計画図修正	事務効率化・住民サービス向上	都市計画基本図を修正し、デジタルデータを作成、庁内及び公開型GISの基本図とする。	26,675	0	建設課
3	キャッシュレス端末導入	事務効率化・住民サービス向上	会計課にキャッシュレス端末を導入し、多くの決済手段に対応。	594	198	総務課 DX推進室
4	電子申請キャッシュレス対応	事務効率化・住民サービス向上	電子申請によるキャッシュレス対応を実施することで、役場に来なくても各種支払いが可能となる。（例：住民票の郵送請求ほか）	0	43	総務課 DX推進室
5	「HADO」体験会実施	新技術体験	AR（拡張現実）とスポーツを組み合わせた「HADO」。運動が苦手な方、高齢者、子どもなど誰でも体験可能なニュースポーツ体験会を開催。	1,210	0	総務課 DX推進室
6	勤怠管理システム	事務効率化 職員健康増進	紙の出勤簿から電子化することで事務の効率化を図る。 職員の労働時間を管理することにより、健康増進を図る。	0	773	総務課
7	財務・人給システム	事務効率化	財務・人給システムの更新により、財務伝票の電子化、年末調整等の効率化を図ることができる。また、自治振興組合の共同調達に参加することで費用を抑えることが可能。	6,367	10,003	総務課 DX推進室
8	保健センター、子育て支援センターWiFi導入	事務効率化・住民サービス向上	他施設同様公衆無線LANの導入により住民サービスの向上及び事務用SSID利用により事務の効率化を図る。	891	0	総務課 DX推進室
9	ワイドモニター（職員用）	事務効率化	17インチのスクエアタイプのモニターをワイドタイプに更新し事務の効率化を図る（50台×5年）	1,045	0	総務課 DX推進室
10	図書利用カード携帯端末化	住民サービス向上	スマートフォン等に登録することで、カードを持参しなくても図書館資料の貸出を可能とし、利用者の利便性向上を図る。	(現行システム利用料に加算なし)		文化スポーツ課
11	デジタル人材育成事業（R4～R6）	住民向け講座・研修	親子向けデジタル技術体験講座、デジタル機器操作講座（みのわメイト）、クラウドソーシング普及、ICTフォローアップ、IT入門講座他	(講座・研修開催費用) 2,790		企画振興課 総務課
12	電子契約	事務効率化・事業者サービス向上	令和4年度12月～継続。紙ベースで取り交わしてきた契約書を電子的にやり取り。R6.4からLGWANオプションを追加	55	321	企画振興課
13	ながの電子調達システム	事務効率化・事業者サービス向上	長野県におけるシステム一括更新を契機とし、受発注者双方にメリットのある入札・契約手続きのデジタル化、県及び市町村等間における入札参加資格システムの共同利用化等を推進	1,750	202	企画振興課

6 SDGs (Sustainable Development Goals)

みんなで取り組む のこさず取り組む わたしに取り組む

令和6年度予算額：1,463千円

開発目標と地域課題の解決に向けた各施策をターゲットとすることで町の総合的な持続可能性を高めます。

SDGsとは

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標（ゴール）

『SDGs実施指針』の優先課題8分野

- ①あらゆる人々の活躍の推進
- ②健康・長寿の達成
- ③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
- ④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
- ⑤省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会
- ⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
- ⑦平和と安全・安心社会の実現
- ⑧SDGs実施推進の体制と手段

R6の取組み SDGs 未来都市選定

委託料：1,265千円

経済・社会・環境の三側面における新しい価値創出を通して持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域として選定されるもの。SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進。

身近に感じてもらう

- 広報誌へSDGs啓発連載【継】

知ってもらう

- 住民向けWSや講座実施【継】
- 職員向け研修

行動につなげる

- 個人目標（取組み）募集【新】
- 「まち・ひと・しごと総合戦略」改定に合わせSDGsを反映

持続可能な地域づくり

- 地域コミュニティ活性化に向けた提言（2019年みのわ未来委員会）の実行支援
- 地域組織の見直しに対し活性化交付金（経常分）を追加交付

- 振興計画の推進

今後の取組み

■2025年度

SDGsを反映した総合計画（第6次振興計画）策定

みのわSDGs みんなで取り組む
のこさず取り組む
わたしに取り組む
～誰一人取り残さない～
箕輪町は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



知ってもらう取組み

委託料：198千円

■職員向け研修

目的：日々の業務とSDGsとの関わりを再認識
SDGsを自分ごととして捉え事業へ反映
ゴール：事業の組立、進め方へSDGsの思考を取り入れる
2030年ゴールからバックキャストで事業を組み立てる

■住民向けWS SDGsゲーム

目的：ゲームを通して地域課題とSDGsとの関わりを認識
ゴール：行動変容を促す
(区議会議員・区民)

7.地域交通対策事業について

交通・移動支援事業 令和6年度予算：57,554千円

高齢者等の移動について、町内移動はまちなかタクシーがR5.10月から移動手段に加わったことにより
利便性増加。一方で、町外(主として病院)の移動手段の充実が課題。令和6年度は下記の事業により高齢
者等の移動困難者の移動を支援

バス系(定時・大量輸送)

みのちゃんバス 21,175千円

制度概要：定時路線による2台運行、平日運行
料 金：大人200円、小中学生100円、高齢者等：無料
主な利用者・・・高齢者、中学生ほか

利用者一部移行か

R4利用者 31,423人(中学生：10,376人 中学生以外：21,047人)
R5利用者(※) 28,633人(中学生：8,598人 中学生以外：20,034人)
※R5年12月までの実績を基に年間利用者を推計

- ①令和6年4月からの変更点
中学朝部活廃止による朝便の統廃合
- ②令和6年の検討課題
利用者の減少による運行最適化の検討

伊那本線 9,420千円

制度概要：定時路線による9便/平日、3便/休日の運行
料 金：150円～350円(手帳所持者等：半額)
主な利用者・・・高齢者ほか

R3利用者 18,768人
R4利用者 17,929人
R5利用者(※) 18,048人
※R5年12月までの実績を基に年間利用者を推計

- ①利用者の減少が見られる
- ②伊那中央病院まで安価に行ける交通手段として重要
- ③定住自立圏事業のため、市町村横断的な交通利便性検討

タクシー系(随時・個別移動)

まちなかタクシー(R5.10月～) 16,920千円

制度概要：登録制による町内定額タクシー、平日運行
料 金：通常500円/回 割引対象者250円/回
主な利用者：高齢者(免許返納者含む)、手帳所持者ほか

- ①令和5年10月から運行実施
- ②1日あたり35回以上の利用
- ③利用上限回数の設定検討
- ④みのちゃんバスからの移行分析
- ⑤定住自立圏による調整

区分	予算(千円)
タブレット通信費	360
運行分析業務	990
チラシ制作	100
タクシー使用料	15,390
タブレット購入	80
合計	16,920

福祉系外出支援券 10,039千円

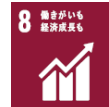
■高齢者外出支援券 8,685千円
制度目的：高齢者のタクシー移動等の経済的負担の軽減
補 助 額：年2,000円
主な利用者：満75歳以上の高齢者

■障がい者外出支援券 850千円
制度目的：障がい者のタクシー移動等の経済的負担の軽減
補 助 額：年1,000円
主な利用者：障がい者手帳等所持者

■車椅子・ストレッチャー移動支援券 504千円
制度目的：在宅重度心身障がい者へのタクシー費用一部補助
補 助 額：月額1,000円～12,000円(高齢者～透析患者)
主な利用者：高齢者、重度心身障がい者、透析患者ほか

8 箕輪町男女共同参画・女性活躍推進の取組み

R6 6,842千円



- 第3次男女共同参画計画（2023～2027）を実現するため、家庭・企業・地域での取組みを進める
- 実行プランを町民とともに展開
- パートナーシップ制度の周知

家庭内の取組み 5,364千円

共家事（トモカジ）みのわプロジェクト

家庭での責任や負担が性別により偏っている現状を踏まえ、性別役割分担意識を変えるとともに、家事育児の偏りを減らしワークライフバランスの向上や地域参加機会を増やすため、次の事業に取り組めます。

新 ①家事キッズ育成プロジェクト

幼少期から家事に触れ、家庭でも実践できるよう、男性保護者と子ども向けに講座を実施、男性の家事育児参加促進

新 ②#トモカジみのわ

共家事の様子やアイデアをSNS上でコンテスト実施

③女性の就業相談（男性相談日拡充）再就職セミナー

家庭内のジェンダー平等を目指す

企業のための取組み 1,203千円

誰もが活き活きと働くことができる職場環境づくり

多様で柔軟な働き方やワーク・ライフ・バランスの理解を推進するため、次の事業に取り組めます。

①イクボス・温かボスセミナーの開催

子育てや介護と仕事の両立ができる職場環境の整備

新 ②職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度の普及

働きやすい職場環境づくりをより実践的に推進する企業を後押しする県の認証制度の周知および取得支援

③女性の働きやすい環境づくり補助金

女性従業員の増、定着に向けた施設整備に係る費用の1/2（上限30万円）を補助

誰もが働きやすい職場を目指す

誰もが地域参画できる社会へ

誰もが地域活動に参加できる仕組みを検討し、みんなでつくるまちづくりを目指す

地域活動に活かしてもらう仕組みづくりを、地域みなさんと共に考えます。

・だれもが活躍できる社会づくり・性別に関わらず安全安心に暮らせる環境づくり
・暮らしにおける男女共同意識をもった行動の促進

9 結婚支援事業

令和6年度予算額: 7,347千円

長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査(R5.6実施)によると、独身者のうち「結婚するつもりはない」と回答した者が増加しており、結婚意向の低下が見られます。一方で、結婚意向のある者の独身でいる理由は、「適当な相手にまだめぐり会わない」が最も多く、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」が増加しています。町においても、婚姻数(婚姻届受理件数) R3は83件、R4は77件と減少傾向にあります。

こうした現状から、結婚を希望する人が希望を叶えられるよう、以下の取り組みにより出会いの場の創出や結婚に伴う経済的負担を軽減を図ります。

相談員&AIによる支援

2,710千円

・結婚に関する相談・お見合い実施

⇒交際や成婚に繋がる伴走支援(平日・土曜日の相談窓口開設)

R5.11末現在 登録者 男性24人 女性11人

相談 129件 お見合い22件

新

・「ながのマッチングシステム」登録者へ補助金交付

ながのマッチングシステム登録料(10,000円/2年間)を10/10で補助することにより出会いの機会を拡充する 申請見込み: 10件

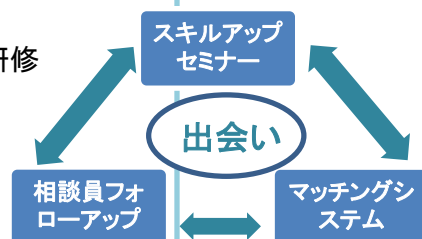
結婚相談員・支援者の育成・ネットワーク化

■相談員

・相談スキルの向上のため定期的な研修

■支援者

- ・ハピサポボランティア
- ・ハピサポ協力事業者
- ・上伊那結婚促進連絡会
- ・長野県婚活支援センター



成婚件数 R5.11末現在: 1件 R4: 1件 R3: 2件

出会いイベント・スキルアップセミナー

330千円

■出会いイベント

R5 2回開催 3組成立

参加者 男7人 女性7人

■スキルアップセミナー

R5 2回開催(男女別各1回)

参加者 男性5人 女性6人

新婚新生活スタートアップ補助金

4,200千円

■概要

結婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯(夫婦ともに39歳以下)に対し係る費用一部を補助

■所得要件

世帯所得500万円未満



■交付上限額

夫婦共に29歳以下＝最大60万円 左記以外＝最大30万円

■対象経費

婚姻に伴う住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用、リフォーム費用

■R4実績 8世帯 3,504千円

※世帯所得400万円未満

■R5見込み 15世帯 5,100千円

(R4からの継続対象世帯込)

10 箕輪町防災交流施設（みのわBASE）事業 R6予算案: 30,327千円

避難施設としての役割、平時の際の防災拠点としての利用に加え、「誰もが気軽に利用できる居場所の確保」、「学生から高齢者までの多世代が過ごしやすい空間」等、多様性・多世代を受け入れられるような施設を目指します。

1 開館予定

- **オープニング記念イベント**
令和6年4月中旬予定
- **開館時間** 午前9時～午後9時30分
- **休館日** 毎月第3日曜日
年末年始(12/29～1/3)
※点検等による臨時休館あり

3 防災機能について

- 災害時に対応できる施設『防災拠点・避難所』**
箕輪町災害対策本部と連携を図りながら、災害の規模や被災状況に応じた、避難所の開設、対策本部等の設置やボランティアの受け入れ拠点などに使用
- **100人が3日（72時間）避難可能な設備**
- ・ 防災倉庫（48㎡）に、防災関連の備蓄
 - ・ 非常用発電機の設置（LPG発電機）による電力確保、炊き出し等
 - ・ 受水槽の設置（3日分の雑用水の確保）
 - ・ 太陽光発電設備（65kW）・蓄電池（15kWh）の設置
 - ・ 高断熱等により、Nearly Zeb（75%以上の省エネ）を実現し災害時にも少ないエネルギーでの運営が可能
- **防災訓練や実施できるなどの機能転換の汎用性**
- ・ フリースペース等の机・椅子・仕切り棚等は利用に応じて移動でき、災害時や防災訓練時等に対応

2 施設維持管理等業務委託 R6予算案: 18,260千円

- **請負業者**（公募型プロポーザルによる）
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
- 町民との共創により施設の利用及び多世代交流の促進を図り、賑わいの場の創出につなげる事業の企画・運営を行う
- 【自主事業の例】
- ・ 未就学児：フォトスポットの作成、ハイハイレース
 - ・ 小学生：謎解きイベント等の無料イベント
 - ・ 高齢者：ラジオ体操会や健康チェック週間
 - ・ 全体：マルシェの開催やミニコンサート
- 地域交流イベント

4 施設概要（貸館等）

	通常利用	営利目的
会議室 1（55.15㎡）	無料	1,200円（1h）
会議室 2（51.12㎡）	無料	1,200円（1h）
1 F フリースペース	無料	—
2 F 学習室	無料	—
展示コーナーギャラリー	無料	—
1階屋外軒下スペース	無料	無料
冷暖房費	200円（1h）	200円（1h）

11 移住定住促進事業

令和6年度予算額: 38,548千円

銀座NAGANOや各種移住イベント、体験ツアー等で移住検討者への情報発信及び交流を継続しつつ、短期・長期移住体験住宅を活用して、町との距離を縮めることにより、移住検討者と町との関係強化や一歩踏み込んだ移住の検討・準備をする機会を移住検討者に提供します。
また、併せて賃貸物件居住者や定住希望者への支援を強化し、確実な移住者及び定住者の増加を目指します。

STEP1 地域を知る、興味を持つ、足を運ぶ

予算額: 2,065千円

■積極的な銀座NAGANO活用及び移住イベント出展
銀座NAGANO5階の移住相談フロアを活用しながら、移住イベントへの出展及び自主開催を行い行います。
R6にスタートした伊北3町村の移住イベントについても通年を通して継続開催し、更なる知名度向上を図ります。


■田舎暮らし体験ツアーの実施

対 象：移住を検討している者
内 容：町内案内、移住者交流、地域住民との交流
田舎料理づくり、施設見学 など
期 間：日帰り又は1泊
費 用：参加費については一部参加者負担

STEP2 地域を見る・体験する

予算額: 667千円

■短期移住体験住宅の活用
対 象：移住を検討している者
期 間：2泊3日～6泊7日
研 修：町内案内、移住者交流、農業体験
職業相談、保育園や学校見学など
実 績：34組79人(令和4年度実績)



人とつながる 体験する

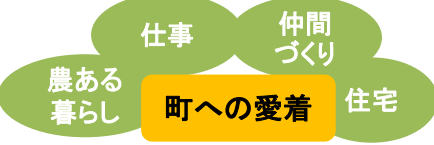
■西部地区移住体験住宅の設置検討(新規)

短期移住体験住宅利用者の増加、利用者による滞在期間の延長希望、西部地区での生活体験ができる施設がないため、官民連携で西部地区に移住体験住宅の設置を検討します。
R6取り組み：設置に向けた適地検討
設置後の備品整備や運用の検討
既存体験住宅を含めた滞在期間の検討

STEP3 箕輪に住む

予算額: 1,916千円

■長期移住体験住宅の活用
対 象：移住・定住を検討している者
期 間：1か月～1年
実 績：3組4人(令和4年度実績)



仕事 仲間づくり
農ある暮らし 町への愛着 住宅

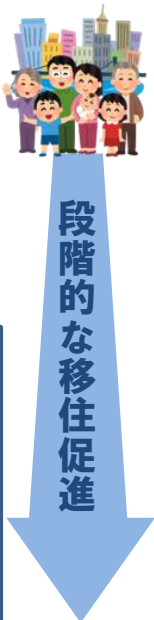
■移住定住促進家賃補助金の周知
箕輪町への移住のきっかけや定住の促進を図るため、県外からの移住者が町に定住の意思を持ち、町内の賃貸物件に居住する方を支援します。
対象者: 県外移住者(Uターン除く)、補助額: 月額上限3万円(補助率1/2)

STEP4 箕輪に定住する

予算額: 33,900千円

■宅地開発促進事業補助金(対象地域の拡充)
高齢化率が高く、人口減少が進んでいる地区での戸建て住宅用分譲地の開発を促進し、移住定住人口の増加により、地域の活性化を図る。
R6取り組み: 対象地域の拡充による開発事業の促進

■若者世帯定住支援奨励金
住宅を取得する40歳未満の若者世帯又はひとり親世帯で土地代含む350万円以上、床面積50㎡の住宅取得に対して基本交付額30万円から各種加算を上乗せして交付します。



1 2 重層的支援体制整備事業

目 的

住民の抱える課題は、生活困窮と障がい・疾病、8050問題など複雑化、多様化しています。これらの課題に対して、多様な支援者が協力して包括的に支援する体制を整えていきます。

地域づくり

事業

生活支援体制整備事業ま
ちなかタクシー
緊急支援ネットワーク
(SOS)
ファミリーサポート事業

人づくり

認知症サポーター
ボランティアサークル
子育てサークル
アカデミー
食改
消防団
・
・

相談支援

生活
困窮

障
が
い

高
齢

保
健
・
疾
病

子
育
て

外
国
人

多機関協働事業

参加支援

居住支援

就労支援

居場所

アウトリーチ

訪問等によるつながり
(地域福祉コーディネーター・保健師・
包括職員・まいさぼ・民生委員・・・)

個別支援会議

重層的支援会議

庁内連携会議

令和 6 年度予算措置

0311 重層的支援体制整備事業

アウトリーチ 委託料 9,661千円
歳入 生活困窮者就労準備支援事業
等補助金 5,250千円

13 相談事業

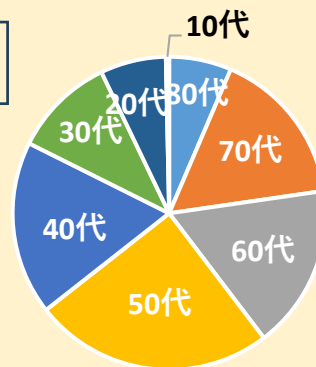
令和6年度予算要求額 3,000千円

困りごと相談

(R2.4.1～R6.1.31)

	計	80代	70代	60代	50代	40代	30代	20代	10代
日本人	219	19	47	42	54	27	17	12	1
外国籍	76		1	8	19	26	14	8	
計	295	19	48	50	73	53	31	20	1

相談者
年代別



相談内容（重複あり）

経済的なこと	240	56.7%
仕事・就職	34	8.0%
病気のこと	42	9.9%
障がいのこと	9	2.1%
家族のこと	46	10.9%
介護のこと	5	1.2%
子育てのこと	4	0.9%
ひとり親のこと	2	0.5%
ひきこもり	6	1.4%
その他	35	8.3%

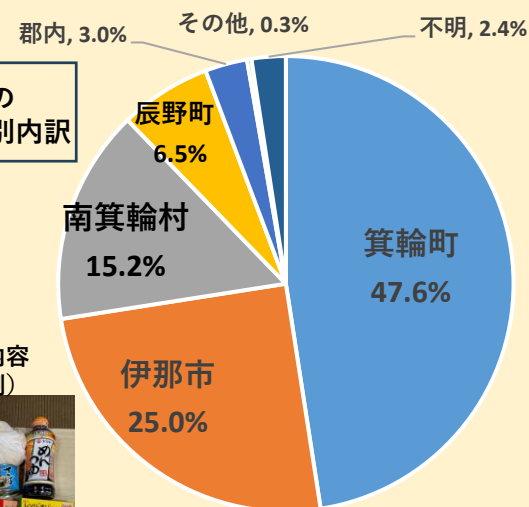
SOS無料相談会

(R2.5.18～R6.1.17 85回開催)

	箕輪町	伊那市	南箕輪村	辰野町	郡内	その他	不明	計	日本人	外国籍
相談者数	1,061	557	340	145	67	7	54	2,231	1,288	943
構成比	47.6%	25.0%	15.2%	6.5%	3.0%	0.3%	2.4%		57.7%	42.3%

延：3,559人（屋台村含む）

相談者の
市町村別内訳



食料等支援物資・資金

相談会・こども食堂で活用

	NPO・企業等からの物資
	一般からの支援物資
	他市町村等からの物資

	長野県の財政支援 絆再生基金 50万円(毎年度)
	箕輪町の財政支援 R5年度 300万円(補正予算) R6年度 300万円(当初予算)

世帯人数分
を提供



提供内容
(一例)



第9期となる令和6～8年度の計画を定め、介護保険料を決定しました。この先2040年までの約15年間は医療・介護ニーズの高い85歳以上の人口が急増し、特に専門職の人手不足への対応が急務となります。

全ての人が、年を重ねても介護が必要になっても、認知症になっても幸福を実感しながら住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域のフルメンバーで支えあえる「地域包括ケア」の関係づくりを進めていきます。

～第9期計画から、以下4つのアウトカムと評価指標を設定し、施策を展開します～

①健康寿命が延伸している

【平均自立期間（要介護2以上）R4 男性 81.3歳 女性 85.7歳】

②要介護・支援の認定率が抑えられている

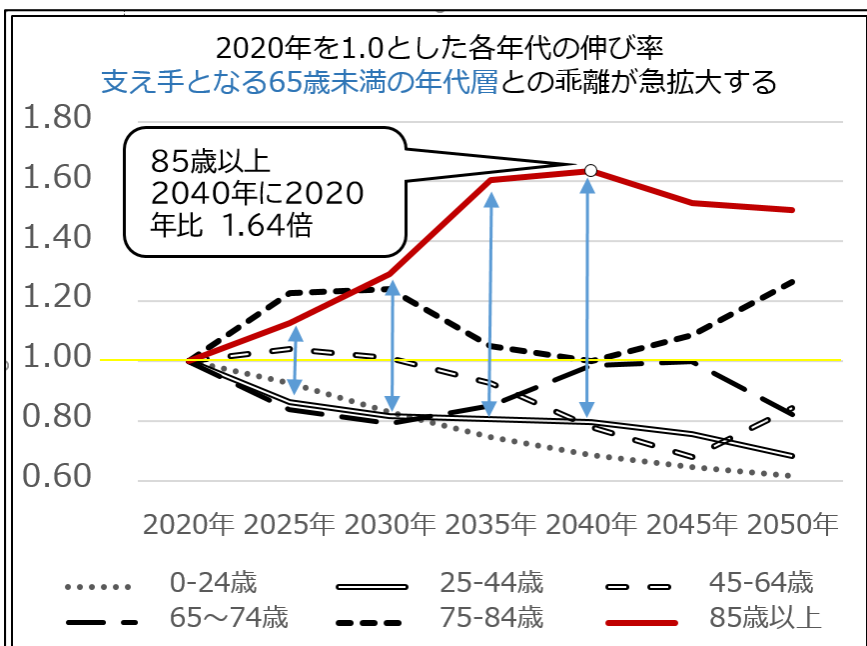
【調整済み認定率 R3 13.5%】

③年を重ねても、介護が必要になっても、幸福を実感しながら暮らしている

【主観的幸福度 R4 元気高齢者 6.99点 居宅要支援者 6.22点】

④最後まで在宅を選択しやすい環境がある

【在宅死亡率（自宅の割合） 2016-2020 5年平均 12.3%】



第9期（令和6～8年度）介護保険料

第7期	第8期	第9期保険料基準額
月 5,000円	月 5,000円	月 5,000円
平成30～令和2年度	令和3～5年度	令和6～8年度

	第8期	第9期	第9期 国標準
所得段階	11段階	13段階	13段階
料率	0.5～1.75	0.455～2.0	0.455～2.4

基準額に変更はありません。国の定める標準段階の変更等により、個人の合計所得金額が320万円以上の方の保険料変更(増)があります。

1 5 健康増進事業（健康づくり推進）

【0417】 20,723千円
【0321】 4,942千円

みのわ健康アカデミー	健康ポイント事業	ウォーキンググランプリ	フレイル対策等 その他教室	出前講座	げんきセンター げんきセンター南部 【0321】	プロから学べるトレーニング
健康づくりの継続、確実に成果が出る健康教室 (第19期) 【計画】 R6 週4日実施 48人参加予定	健康づくりの導入・継続 高齢者にも対応 他課とのコラボ 【実績】 R5参加者数 1,112人	健康イベント ウォーキングの町 企業とのつながり 働き盛り世代の参加 【実績】 R5 698人・67G参加	鶴亀講座 いきいき百歳体操 各地区運動講座	健康学習の場の提供 各地区・各団体での健康講座の実施、企業への媒体貸出	自主トレーニング、休日対応 《南部》 エアコン新設 運動器具2台新設 【実績】 (沢) 月平均513人 64歳以下月平均22人 (南部)月平均837人 64才以下月平均46人	土曜日の活用 (午前のみ) 【実績】 月平均 33人利用
健康運動指導士・保健師・管理栄養士・歯科衛生士等 専門職による健康教育					業務委託	

町全体への広がり

げんきセンター開放
健康づくりの継続、筋力アップ

**ゼロカーボン
啓発・普及**
(健康ポイント事業とのコラボ)

みのちゃんポイントカードの普及
(健康ポイント事業の選べる景品)

町内イベント集客効果
ウォーキングイベントの参加促進（ナイトウォーク・天竜健康ウォーク等）
ポイント付与による各種教室や講演会への参加

**町内事業所、
町商工会健康経営の推進**
ウォーキンググランプリ・健康ポイント参加、推定食塩摂取量検査の実施、がん検診PR

1 6 “塩”は減らしても、“縁”は大切に！『みのわ減塩大作戦！2024』

予算【0417】
1,240千円

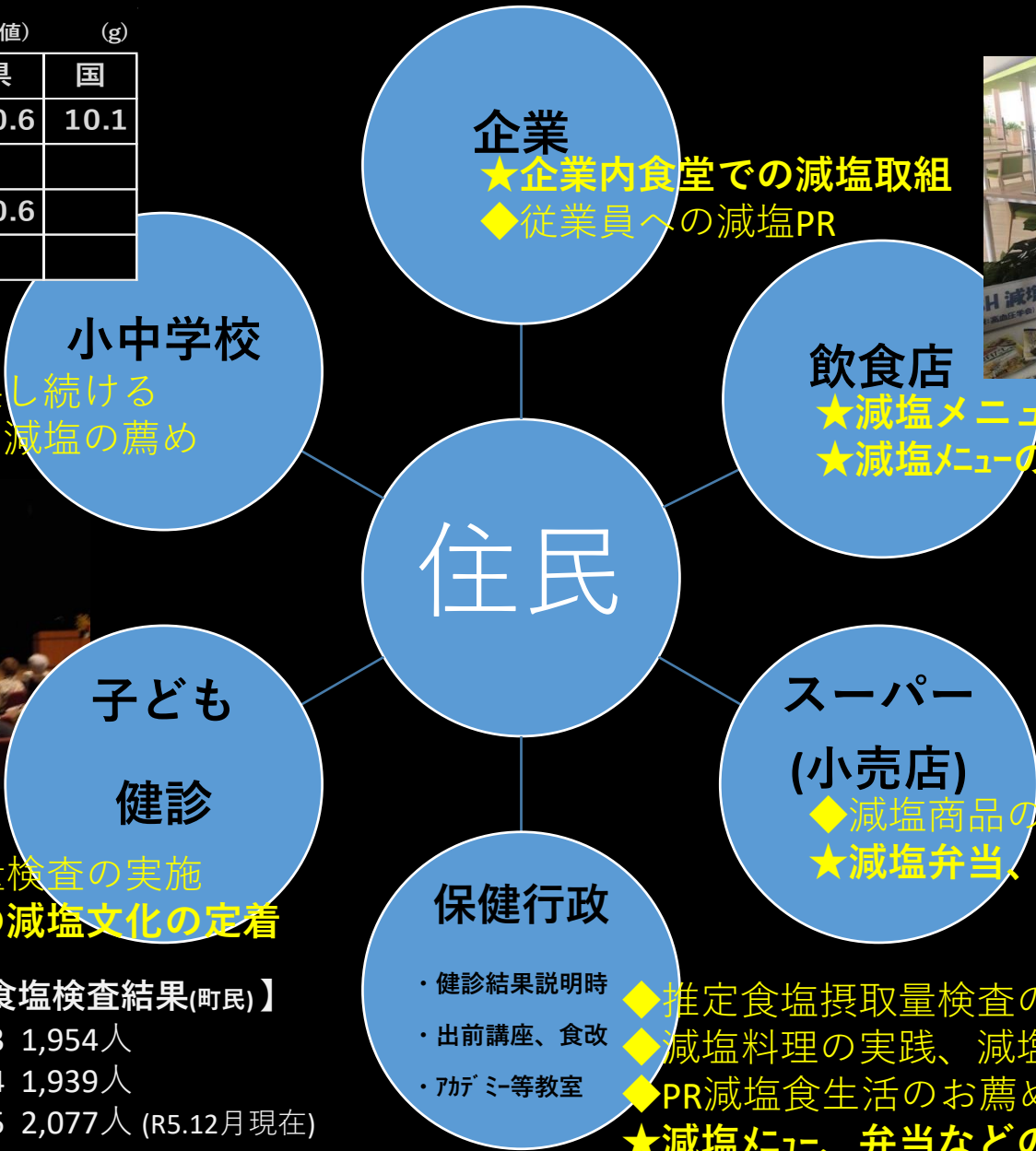
食塩摂取量（参考値）（g）			
	町	県	国
R1		10.6	10.1
R3	9.4		
R4	9.3	10.6	
R5（12月末まで）	9.3		

- ◆減塩給食を提供し続ける
- ◆保護者に対する減塩の薦め



- ◆推定食塩摂取量検査の実施
- ★乳幼児期からの減塩文化の定着

【食塩検査結果(町民)】
R3 1,954人
R4 1,939人
R5 2,077人 (R5.12月現在)



- 企業
- ★企業内食堂での減塩取組
 - ◆従業員への減塩PR



- 飲食店
- ★減塩メニューの開発
 - ★減塩メニューの提供・販売

【販売量】
R5実績（R5.11月現在）
●F社 15個/月
●B社 1,250個/月

- スーパー
(小売店)
- ◆減塩商品の取扱・販売
 - ★減塩弁当、総菜の開発・販売

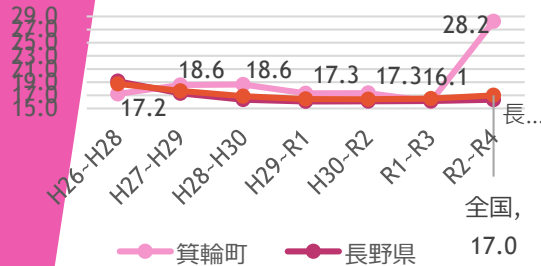
- 保健行政
- ・健診結果説明時
 - ・出前講座、食改
 - ・アガミ等教室
 - ◆推定食塩摂取量検査の実施
 - ◆減塩料理の実践、減塩講演会
 - ◆PR減塩食生活のお薦め、PR
 - ★減塩メニュー、弁当などの宣伝に協力

17 箕輪町の自殺対策

【0408】
2,059千円

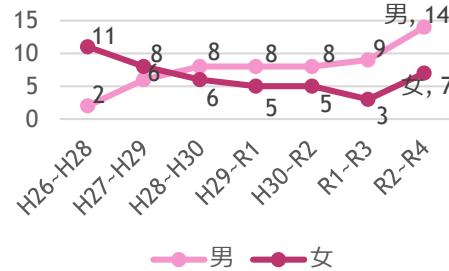
箕輪町の自殺の現状

自殺死亡率（人口10万対）3年ごとの推移



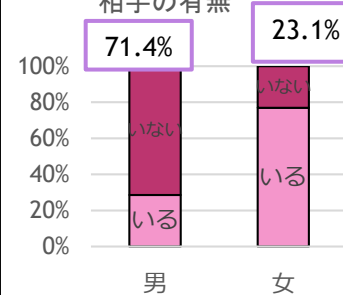
国・県と比べて自殺死亡率が高い

箕輪町の自殺者数（人）3年ごとの推移



男性の自殺が増加

「自殺を試みたことがある」回答者の性別・相談相手の有無



「相談相手いない」男性多い

基本理念

『誰も自殺に追い込まれることのない箕輪町』を目指す

数値目標
【自殺死亡率12.2以下】

第2次箕輪町自殺対策計画の推進（計画期間R6～R10）

4つの基本施策

1 地域におけるネットワークの強化

- ・市内・市外の連携

2 自殺対策を支える人材育成

- ・ゲートキーパー養成
- ・支援者研修

3 町民への啓発と周知

- ・相談先紹介のカードやティッシュの設置・配布

4 生きることへの促進要因への支援

- ・様々な背景の人への生きる支援（各分野の事業と連携）

5つの重点施策

1 男性の自殺対策強化

- ・町民や企業への啓発活動
- ・相談窓口の周知、相談しやすい環境整備

2 高齢者の自殺対策強化

- ・高齢者支援に関する情報の広報
- ・家族や介護者等への支援（支援者への支援）
- ・高齢者の生きがいや役割を実感できる地域づくり

3 子ども・若者への自殺対策強化

- ・妊娠から子育て期まで途切れのない支援（産後うつ予防、面談、訪問）
- ・虐待予防・対応
- ・不登校・ひきこもりへの対応
- ・SOSの出し方教育
- ・命の講演会

4 労働問題に関わる自殺対策強化

- ・企業との連携
- ・相談窓口の広報
- ・「こころの相談」「こころの体温計」

5 生活困窮者の自殺対策強化

- ・経済や生活面の支援
- ・関係課・関係機関との連携
- ・ひきこもりへの対応

18 子育て支援対策

～ 『パパ』になるなら 箕輪町 『ママ』 になるのも 箕輪町 ～

子ども未来課

子育てにかかる経済的負担等の更なる軽減

子育てに関わる経済的な支援をこれまでも行っていますが、子育てにかかる費用等経済的負担の更なる軽減を行います。

1. 第2子以降の保育料無償化及び第1子保育料の軽減補助

●年齢、在園に関係なく第2子以降のお子さんの入園にかかる月額保育料を無料とします。

現在、3才以上児にかかる保育料については無償化されていますが、同時に2人以上のお子さんが在園されている場合、第2子は半額、同時在園に関わらず第3子以降は無料としています。

更なる負担軽減のため、同時入園に関わらず第2子以降も無料とします。

●第1子にかかる月額保育料について、軽減補助を行います。

現在、3才未満児については市町村民税所得割課税額に応じて保育料を納めていただいておりますが、保護者負担額が現保育料に対して第1子は3/4、一定所得以下は1/2となるよう軽減補助します。

【3歳未満児の保育料無償化・軽減策イメージ】										
町階層 区分	年収 相当額	第1子		第2子				第3子		
				同時入所		非同時入所		同時入所	非同時入所	
1～4	360万円 未満	自己負担 1/2	県 1/4 補助	町 1/4 補助	県 1/4 補助	国 1/2 軽減	町 1/4 補助	県 1/4 補助	国 1/2 軽減	国無償化
5	360万円 以上	自己負担 3/4	町 1/4 補助	町 1/2 補助		国 1/2 軽減	町 3/4 補助		県 1/4 補助	町 1/2 補助
6～14										

2. 実費徴収となる給食副食費の負担軽減

●実費徴収している副食費を月額3,000円 ⇒ 2,000円とします。

現在、3歳以上児の副食費は国基準4,700円に対し町独自に1,700円補助し月額3,000円を徴収していますが、町補助を1,000円増額し、保護者負担額を月額2,000円とします。

また、第2子以降の副食費を無料とします。



3. こども誰でも通園制度（仮称）の試行的事業実施

●月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度の創設。

利用対象者は、満3歳未満で保育所等に通っていないこどもとし、月一定時間までの利用可能枠の中で利用が可能。令和8年度の本格実施予定に向けて実施方法等検討し試行的に実施します。

4. 育休退園制度の廃止

- 第2子以降の出産で育児休業を取得した場合、上の子が原則退園となる「育休退園」を廃止します。



5. 入園・通園準備品の共通消耗品対応

- 保育園の入園・通園準備品について、園児が共通使用できる物品は保育園で用意するよう見直します。

これまで、入園準備品としてお願いしていたボックスティッシュ、おしりふき、台ふき、緊急時用の雨カッパ等保育園の共通消耗品で購入します。



6. 乳幼児用おむつ用品購入助成事業

- 2歳までの乳幼児を養育する家庭に対して、おむつ用品を購入できる購入券を支給します。

箕輪町内に住所があり対象児を養育する保護者に対して、乳幼児1人に対して年額30,000円のクーポン券を支給します。



7. 在宅保育給付金交付事業

- 在宅でこどもを保育する保護者の経済的負担の軽減のため、在宅で養育する世帯に対し給付金を交付します。

箕輪町内に住所があり、1歳から就学前までの児童を一定期間在宅で保育する保護者に対して児童1人につき月額3,000円を交付します。



8. 産後ケア事業の助成拡大

- 産後退院直後から生後1歳までの母子に対する心身のケアや、育児サポートを行う産後ケア利用を助成します。

- ・利用料のうち、8割（上限20,000円）を助成
- ・自己負担額割引クーポン（25,000円）を7日分

9. 小学校入学祝金・中学校入学祝金の贈呈

- 小学校入学・中学校入学祝金を贈呈します。

こどもにかかる祝金として、子育て世帯の節目の経済的負担を目的に、出生時に20,000円、小学校入学時20,000円、中学校入学時50,000円をお祝い金として贈呈します。



子育て支援センター事業の充実

令和6年度予算要求額 50,040千円

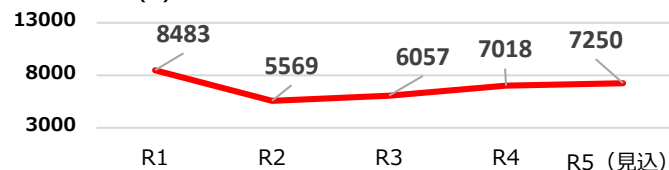
背景・課題

箕輪町子育て支援センター「いろはぼけつ」・「みのわ〜れ」は、「地域子育て支援拠点」、「利用者支援事業」、「ファミリーサポートセンター事業の事務局」、「一時預かり事業」の4つの機能を持つ。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、利用者数が回復してきており、さらなる施設の充実が求められている。

保護者からはこどもが体を動かして遊べる遊具等の導入、安全に遊べる施設整備などの声があがっている。

「いろはぼけつ」年度別延べ利用者数
(人)



事業内容(抜粋)

「いろはぼけつ」を中心に、主にハード面から支援センターを整備し、利用者のニーズを聞きながら魅力ある居場所として利用の増加を図る。

<園庭・駐車場の拡張・整備>

駐車場・園庭に係る用地の購入・造成工事)

- いろはぼけつと西側の土地を購入し、駐車場として整備。



駐車場再利用計画・設計

- 用地購入により空いた現在の駐車場区画を園庭等の拡張に使用するための設計に係る委託料。
- 拡張された区画の利用方法については、いろはぼけつとの利用者等の意見を反映する。

<屋内の環境整備>

遊戯室ステージ撤去工事 遊戯室に旧保育園時代から設置されているステージを撤去し、親子が活動できるスペースを拡充。



屋内遊具・おもちゃ等の充実

(消耗品・備品購入費)

- 利用者から要望のあった屋内で身体を使って遊べる遊具を整備。
- こどもの発達に好影響が期待されるおもちゃ等を購入。

<相談機能の充実>

助産師・栄養士等による定期相談

(助産師への報酬等)

- 定期的に助産師や町の管理栄養士がいろはぼけつを訪問し、乳幼児の保護者の相談を受け付ける。

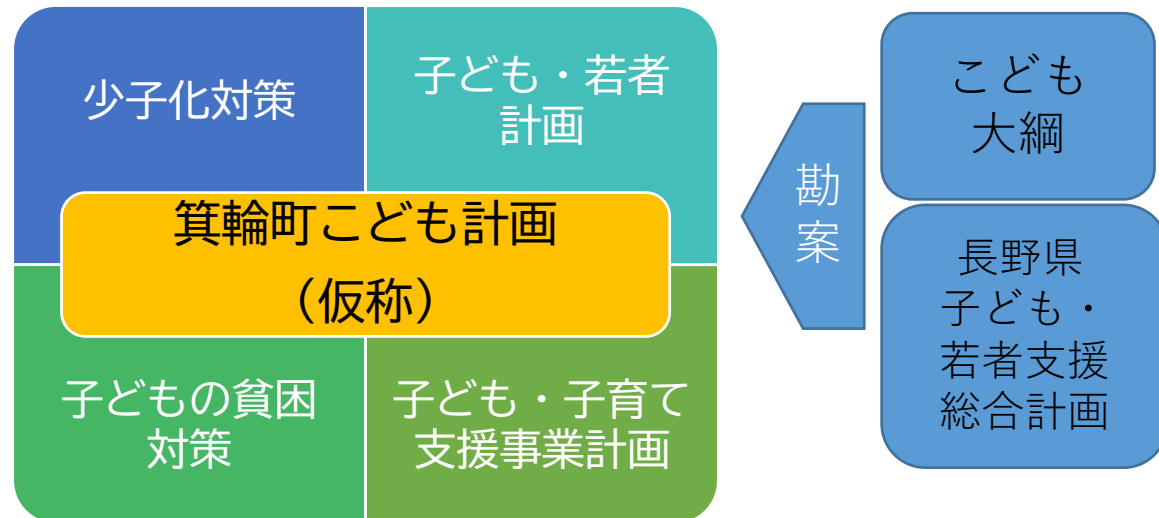
19 こども計画（仮称）策定

令和6年度予算要求額

7,710千円

こども・子育て 応援条例

こどもの健やかな成長のために、妊娠期からこどもが成人に至るまで、**地域全体で喜びや楽しさを実感しながら子育てができる社会を実現**するためにこども・子育て応援条例を制定。こども計画（仮称）を策定する。



事業内容

- こども計画策定業務委託による計画策定進捗管理
こども会議の立ち上げ / ワークショップの開催 / 計画書・概要版の作成
- こども・若者審議会（仮称）の開催

●実態把握

- こども会議の開催
- こどもワークショップ
- 子育て家庭への実態調査
- 関係機関への実態調査等

●こども・若者審議会（仮称）

- 課題～
- 施策検討
- 専門部会

●こどもの意見反映

- こども会議
- ヒアリング

●こども・若者審議会（仮称）

- パブリックコメント
- 計画書・概要版作成
- こども・関係機関等への周知

20 こどもの居場所づくり

令和6年度予算要求額

12,946千円

事業内容

- ・(継) こどもサポートコーディネーター事業 (箕輪町社協へ委託予定)
- ・(拡) 地域で居場所を実施する団体への補助 (6団体へ補助見込み)
- ・(新) 支援を必要とする子ども・保護者を対象とした拠点居場所づくり (2か所を予定)

(継)こどもサポートコーディネーターの配置<委託>
アウトリーチ活動により、支援を必要とする子どもや家庭を支援につなぐ



安心できる居場所の提供

ひきこもり支援
こどもの貧困
虐待予防

食事の提供
生活習慣の形成
学習支援・生活体験
こども・保護者への相談支援

個別の
相談支援

●(新)こどもの居場所拠点事業 <委託>

- ・相談員の配置
- ・常設型の居場所 (週3日以上)

交流/体験
気軽に行ける
居場所を増やす

食事

季節の
行事

学習
支援

多世代
交流

●(拡)こどもの居場所づくり 推進事業 <補助>

- ・需用費
- ・賄い材料費
- ・報酬
- ・会場費
- ・開設に係る費用

21 農業次世代人材支援事業

(予算額：7,100千円)

【目的】 農業従事者の減少・高齢化対策として、様々な就農者に対して町独自の支援をすることにより次世代農業者を確保し、町の農地維持と農業経営の発展を図る。

① 兼業就農者支援事業

(予算額：1,800千円)

対象者：原則**60歳未満の移住者**で
兼業就農する者

要件：農作物等の販売額が100万円以上となるよう就農計画を作成（5年間）

交付額：60万円／年（最長3年）

3名

【具体的なイメージ】

（農業）販売額100万円以上

（兼業）所得目標200万円



② 定年帰農者支援事業

(予算額：1,500千円)

対象者：原則**55歳以上で定年または
離職後に就農**する者

要件：地域の担い手となる
就農計画作成（5年間）

交付額：機械等導入支援

1/3補助 上限：50万円

3名

【具体的なイメージ】

定年後、親の農地を譲り受けて
就農。地域の営農組合に参加する



③ 雇用就農支援事業

(予算額：5,800千円)

対象者：雇用就農者がいる農業
経営体、農事組合法人

要件：原則**50歳未満**の方を雇用し、

将来的に独自就農を目指す

交付額：60万円／年（最長3年）

3名

農事組合法人：200万円

【具体的なイメージ】

雇用先での研修により技術や知識を
習得。将来、独自就農を目指す
農事組合法人は



⇒ 農業従事者減少・高齢化対策として、次世代の農業者育成を支援する

R6年度末までに地域計画を策定・公表（農業委員会：目標地図を作成）

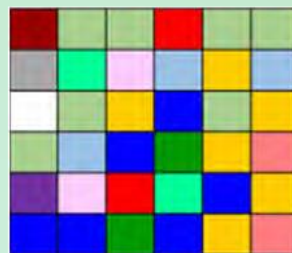
現状の課題

人・農地プランの実質化（R2.3月）
集約・集積⇒プランどおりには進んでいない
計画が形式的であり、実質的なものになっていない

目指す地域計画の姿

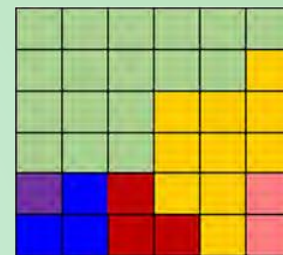
- ①農地有効活用（優良農地確保・非農地化・用途変更等）
- ②担い手への集約と作物への集約（2種類ゾーニング）
- ③新規就農者へまとまった農地提供（受入体制整備）
- ④町独自の農地中間管理の仕組みづくりの検討

<現況地図>



地域内の分散・
錯綜した農地利用

<地域計画・目標地図>



担い手に農地集約化
新規就農者へ農地提供
（10年後の将来図）

地域計画策定のスケジュール（R6）

■町内5地区で懇談会開催

- ①出し手・受け手の意向調査
- ②懇談会開催・取りまとめ
⇒計画を示して合意を得る会議

■地域計画策定委員会の開催

- ①地域計画・目標地図の素案
- ②策定員会で内容検討（年3回）

※農業委員会・JA・県・土地改良区
みのわ営農などから委員を委嘱

⇒地域計画、目標地図策定・公表

R6予算（1,200千円）

- ①意向調査の集計・地域計画素案作成：1,000千円
- ②懇談会開催費（広告作成委託、消耗品）：200千円

- ①農業実態調査業務委託料
・農業者全員を対象（R5）
農地1筆ごとの将来意向を調査
- ・意向調査集計分布図作成（R6）
 - 1）地域計画の素案作成
 - 2）策定委員会開催
⇒検討・協議
 - 3）地域計画・目標地図作成



23 有機農業推進事業

(予算額：1,970千円)

【目的】 有機農業をはじめとする環境にやさしい農作物の生産を推進する。
併せて、化学肥料・農薬の低減を図り、農業分野のゼロカーボンを推進する。

①有機農業講習会の開催（野菜・果樹・土壌）

R5：土づくり講習会を開催

R6：品目ごと、土壌など多種の講習会を開催する。

町民菜園での実演を含めた講習会も開催する。

講師は、有機農業研究会や外部機関へ依頼する。

(予算額：270千円 謝礼金)



②環境にやさしい農作物認証ラベル作成

環境にやさしい農作物に付加価値をつけるため、町独自の認証ラベルを作成

認証に当たり、県の慣行栽培を基準とし、町独自の認証基準を設定する。認証審査期間を設置

(予算額：200千円 委託料)



③環境にやさしい農作物出荷手数料補助

町独自の認証を受けて、認証ラベルを貼りファームテラスみのわに出荷した農業者の出荷手数料（15%）を補助

環境にやさしい農作物の販路先の確保とファームテラスみのわの売上向上を目的とする。

補助対象者：出荷農業者（認証ラベルを貼った農作物）

(予算額：500千円 補助金)



④堆肥利用促進事業補助金

町内の畜産農家が生産する堆肥の流通を促進することにより、化学肥料からの転換、使用量の低減を図ることを目的に、堆肥購入費の一部を助成する。

堆肥購入量×2,000円、堆肥購入費用の1/3

いずれか低い額

(予算額：1,000千円 補助金)



24 森林ビジョンに基づく取組み

大目標：町内のすべての森が、何らかの方針のもとに管理されている。放置ゼロ！

森林ビジョンの3つの柱を達成するためにアクションプランに基づき、次の取組みを行います。

災害が少なく、安全・安心であること

地区森林ビジョン策定

予算額：2,992千円



「箕輪町森林ビジョン」を具現化するために、地区ごとにゾーニングや所有者の意向調査を行い、地区の森林ビジョンを策定し、森林整備の方向性を立てます。

災害学習会／災害軽減・緩衝帯整備講習

予算額：544千円【講習会費の内数】



集落への災害による被害を未然に軽減するため、CS立体図を読む学習会や河川や沢の倒木処理・野生動物との棲み分けのための藪払いなどを協働により実施します。

資源を育み、もたらすこと

森林整備講習会の開催

予算額：544千円【講習会費の内数】



森林整備に関わる地域住民向けに森林整備の目的からチェーンソーの使用法、伐採・下刈りなどの講習会を行います。

箕輪町の暮らしを彩り、支え、みんなが通いたくなる森であること

森林・木工体験

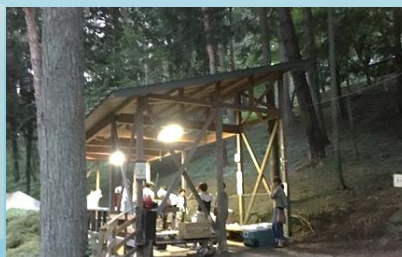
予算額：544千円【講習会費の内数】



森との関わりが少ない初心者向けに森林に関する基礎知識や木製品づくりなどの体験の場を設けます。

森との関わりづくりへの支援

【森づくり・活用事業補助金】 予算額：1,500千円



協働や住民主体による森づくりや森と親しむ機会を作り出す取組みに対し、補助金により支援します。
・森林を活用したイベント
・地域産材を使ったワークショップ
・町民が親しめる森林整備

森林のみどころ・楽しみ方一覧作成

景色をはじめ、山の楽しみ方やイベントなどを集約し、マップ等で一覧にして町民に広く周知し、町民の森へ関わるきっかけをつくります。

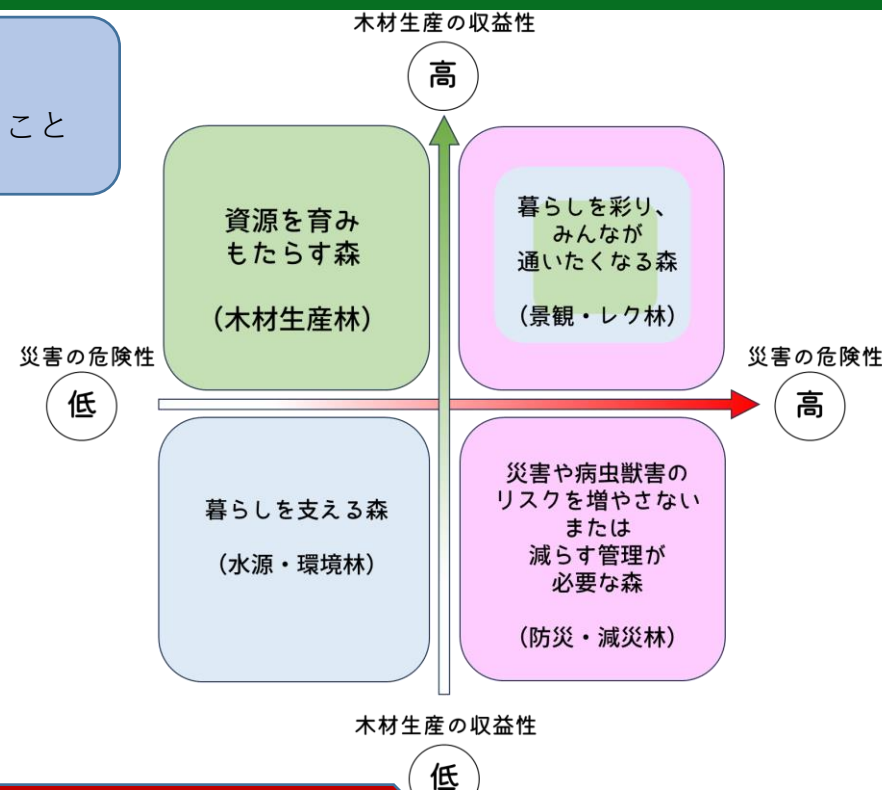
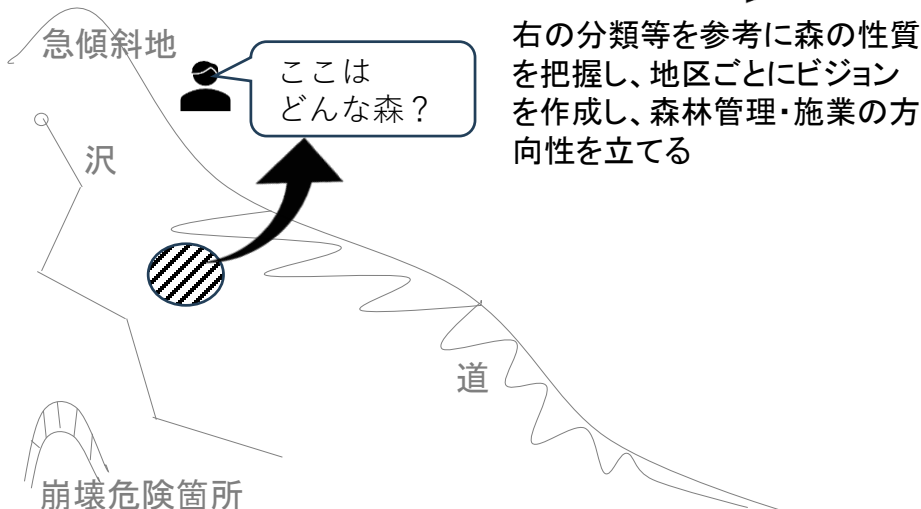


25 森林環境整備の取組み

○森林ビジョンの3つの柱

- ・災害が少なく、安全・安心であること
- ・箕輪町の暮らしを彩り、支え、みんなが通いたくなる森であること
- ・資源を育み、もたらすこと

森の性質を見極めた利用・管理



令和6年度取組み

・地区森林ビジョンの策定（3地区）	2,992千円（新規）
・森林整備講習、森林・木工体験	544千円（新規）
・森づくり・活用事業補助金	1,500千円（新規）
・みんなで育てる箕輪の森づくり（植樹祭）	390千円（継続）
・ペレットストーブ導入補助金（10基分）	2,000千円（継続）
・危険木等除去（ライフライン・集落等）	2,500千円（継続）
・分収林保育間伐	3,428千円（継続）
・森林整備事業補助金（民間事業者への補助）	4,326千円（継続）
・としまの森整備（5年目）	4,628千円（継続）
・森林環境基金の創設	11,044千円（新規）
・松くい虫伐倒燻蒸（枯損木の処理）	14,680千円（継続）

令和6年度以降の取組み

- ・地区森林ビジョンの策定（全15区）
 - ①地区ごとの森林ゾーニング図作成、所有者確認
 - ②森林所有者意向調査
 - ③地区森林ビジョンの策定（現地調査・地区の検討会議）
 - ⇒ビジョンに基づく管理・施業の方向性を策定
 - 【目標：5年間で15区のビジョンを策定】
- ・災害リスクが高い箇所のリスク除去
- ・森林経営計画等に沿った施業・管理への支援
- ・地域材利用推進
- ・森へ関わる仕組みや体制づくり
- ・森林整備に関わる人材の育成
- ・野生動物とのすみ分けのための環境づくり



26 みのわテラスを核とした農業振興・地域活性化の取組み

4年目を迎えるみのわテラス。さらなる賑わいの場づくりと、2期開発に向けた検討を進めます。

実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込)	目標 (令和6年度)
来場者数	112千人	124千人	142千人	153千人
総売上額	23,844万円	26,477万円	27,329万円	28,150万円
学校給食 地産地消率	43.5%	50.1%	54.6%	60%



これまでの成果・課題

- ・毎月のイベント開催などの賑わいづくり
⇒上伊那・諏訪エリアの来客増
- ・もみじ湖・赤そば畑からの誘客（観光との連携）
⇒秋季の来客・売上増
- ・生産者直売・給食地産地消の推進
⇒登録生産者の増加、地産地消率の上昇
- ・みのわコーナーの設置・農産物等販路拡大
⇒町内産加工品の開発・販売促進
- ・町民菜園・交流菜園による農ある暮らしづくり
⇒農に携わる住民の拡大
(課題)
- ・平日・冬季の来場者の確保
- ・施設周辺の農地等の有効活用、さらなる賑わいづくり

令和6年度の取組み

- ・みのわテラスマーケットの通年開催 2,748千円（継続）
- ・みのわテラスのP R（SNS・HP・チラシ・広告） 814千円（継続）
- ・みのわテラス一帯の情報発信及び商品開発・施設
利用促進等のブランディング支援 950千円（継続）
⇒地域内外での認知度アップとさらなる誘客を図る
- ・給食食材供給補助 488千円（継続）
- ・農産物等販路拡大補助 700千円（継続）
⇒地産地消の推進、農産物の販路拡大
- ・町民菜園・交流菜園 562千円（継続）
- ・こども菜園（町内企業との連携） 30千円（新規）
⇒食育・農に触れる機会の拡大、子育て世代の誘客
- ・各施設での平日・閑散期集客の取組み（継続）
- ・2期開発に向けた基本設計 3,000千円（継続）

○2期開発に向けての考え方

農の中心地としての賑わいづくり・地元農産物の出口・農ある暮らしの価値発信・周辺農地と景観に恵まれた立地の活用

27 もみじ湖観光受入事業

令和6年度予算額:31,114千円

もみじ湖の紅葉は、全国的な紅葉の状況等により、令和5年は来場者数を減らしたものの、ピーク時の来場者は引き続き増加を続けており、渋滞対策の継続が必要です。交通規制期間を短縮し、ピーク時以外の来場のしやすさを向上させるとともに、引き続き観光客の周遊・消費促進に努めます。

1 交通規制の実施期間

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9

※令和5年度と令和6年度予定の交通規制実施期間を曜日で比較

【交通規制期間中の取り組み】

- マイカー規制
- 駐車場予約制
- シャトルバス
- 駅前往復バス

<令和5年度>

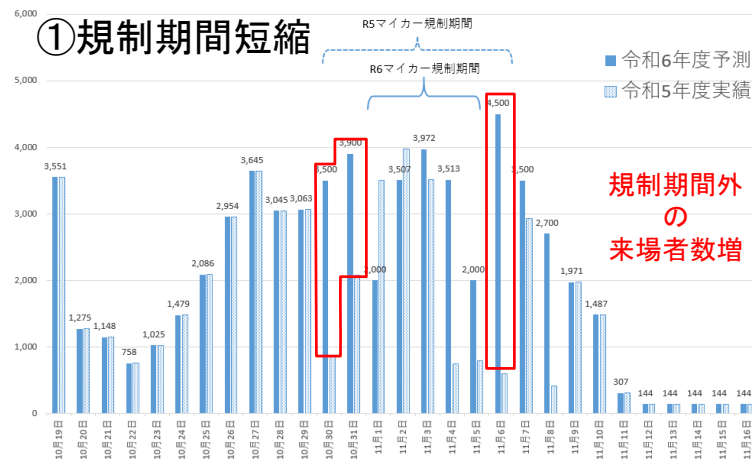
・令和5年11月1日(水)～令和5年11月8日(水):8日間

<令和6年度>

・令和6年11月1日(金)～令和6年11月5日(火):5日間

2 来場しやすさの向上

①規制期間短縮



②町民優待

規制期間中、一部日程に限り、予約不要・駐車場等無料



3 観光客の周遊・消費促進

地域周遊おもてなしパスポートの配布【継続】

登録店舗での特典と、特産品が当たるスタンプラリーに参加できるパスポートをもみじ湖来場者に配布



【NEW】令和6年度は多言語に対応

28 観光施設整備事業(ながた自然公園リニューアル事業)

令和6年度予算額:3,850千円

1. ながた自然公園の現状と課題

平成24年に公園東中央部の林野を取得。一部を健康増進ゾーンとして、マレットゴルフ自然公園コースの造成等リニューアルを行ったが、利用が少なく活用が十分に進んでいない。公園東中央部の再整備を中心に、公園全体の整備計画を策定し、リニューアルを進める必要がある。

2. ながた自然公園リニューアル事業(R6:ながた自然公園リニューアル計画の策定)

【土地利用】

将来的な土地利用の見通しを立て、公園の整備範囲、ゾーニングを見直す。

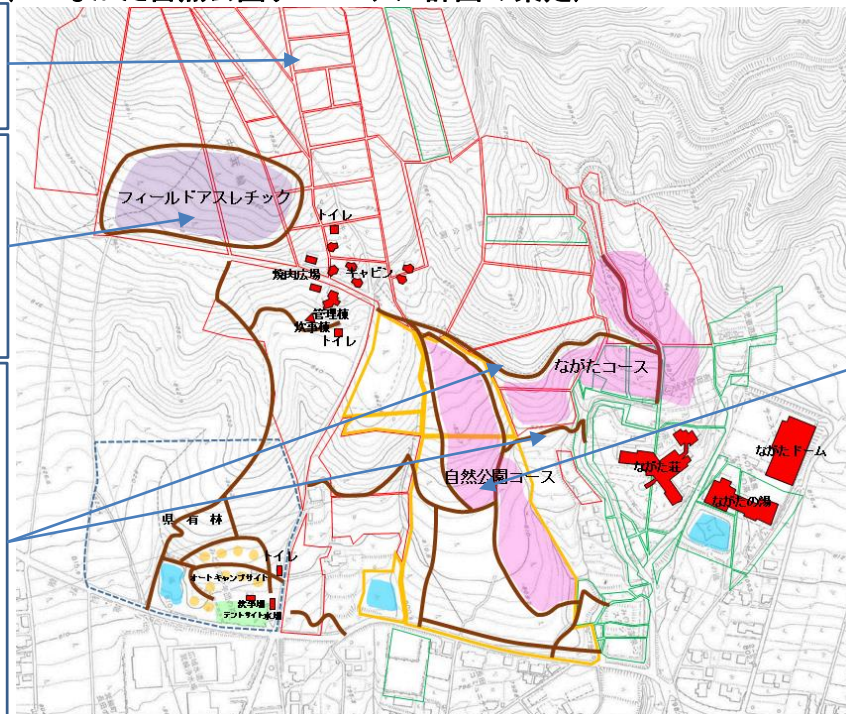
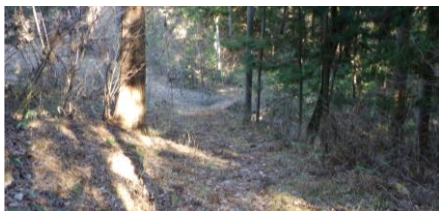
【フィールドアスレチック】

老朽化が進んだフィールドアスレチックの整備の見直しを立てる。



【利用者動線】

ながた自然公園とみのわ温泉の相互利用が進むよう、公園南北の利用者動線を見直す。



【公園東中央部】

活用が十分に進んでいない公園中央部について、必要な森林整備と、公園としての整備・活用案について検討する。



3. 事業スケジュール

令和6年度

○リニューアル計画策定

令和7年度

○施設整備工事(公園施設)

令和8年度

○公園リニューアルOPEN

29 産業DX推進事業

商工観光課商工係

◆ 中小企業者向けDX推進事業補助金 R6予算500万円（10社を想定）

デジタル変革による生産性向上や売上向上を計画的に進める企業の支援を行う

R4実績： 9社 R5実績：10社
製造業、建設業、飲食業、卸売小売業、専門技術サービス業等

幅広い業種で活用

【DX導入事例】

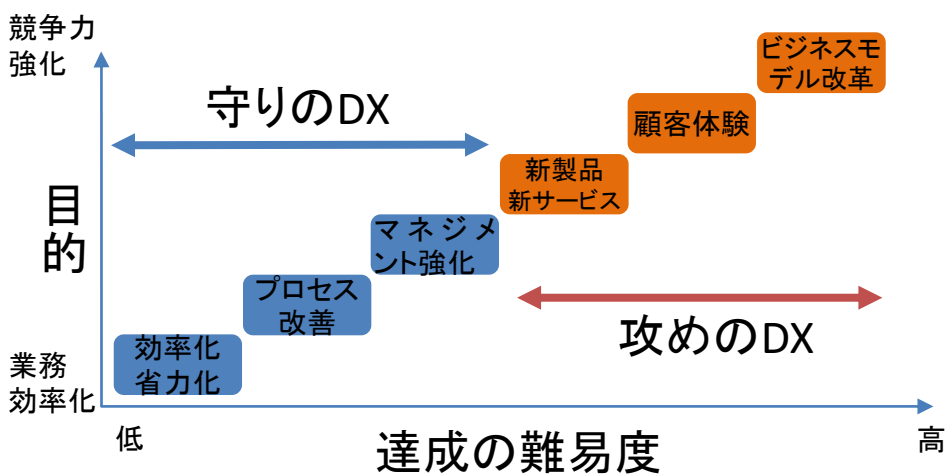
- ★AI & RPAを使用した図面管理・工程管理・見積作成システムの導入
- ★受注・売上管理システムの導入
- ★生産設備集中管理システムの導入
- ★材料費伝票のデータ化によるデータベースの構築
- ★ECサイトの再構築とゆうパックとのシステム連携
- ★ホームページを活用した直販事業
- ★各種申請書類作成業務の合理化
- ★GNSSとIMUによるICT施工の実現
- ★勤怠管理のクラウド化

＜導入後の効果・実績＞

- ・作業時間の短縮
- ・人的ミスの撲滅
- ・生産性の向上
- ・顧客サービスの向上



多くの成果・成功事例を
積み上げ、町内企業へ拡散



30 まちなかのにぎわい創出

「時代の変革やニーズに応じた個性・魅力あるまちづくり」を推進し、まちなかのにぎわい創出へ

◆空き店舗の活用を推進

①空き店舗出店促進事業補助金の創設

R6予算200万円

町内産業の活性化を促進し、まちなかのにぎわいを創出することを目的として、町内の空き店舗を活用して出店しようとする事業者に対して、空き店舗の改修に係る費用の一部を補助します。

◇補助対象者：空き店舗を活用して新たに飲食店、小売店等を出店しようとする事業者

(フランチャイズ店等を除く)

空き店舗とは・・・町内に所在する長期間使用されていない店舗等

(大規模小売店舗立地法届出施設等は除く)

◇対象経費：空き店舗を改修して出店する際に必要な改修費用

◇補助率：対象経費の1/2(上限50万円)

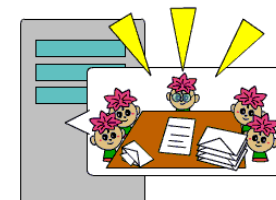


②空き店舗の活用を検討

商工会や関係部署等と連携した空き店舗の活用を検討(防災交流施設とマッチしたイベント等の検討)

◆空き店舗の情報収集

商工会や関係機関(商店街、不動産業者等)と協力した空き店舗の実態の把握



31 デジタルマップ（都市計画基本図修正）

（建設課） 26,675千円

①統合型・公開型GISの導入

課題解決のため、統合型GISの基盤となる地図を道路台帳図とし、デジタル化を実施する。

■現状と課題

【統合型GIS】

各部署でそれぞれに地図データを管理しており、管理方法も、紙管理や独自のGISなど、統一的なデータ管理ができておらず、市民の利便性向上の足かせとなっている。また、業務の効率化や迅速な情報共有ができず、システムの重複によりコストもかかっている。

⇒各窓口で対応していた地図データ等の提供をワン・ストップサービスにより実施することで住民サービスにつなげる。

【公開型GIS】

地図データを公開することで市民側の都合に合わせて、いつでも情報を確認できるようにし、市民等の利便性向上を図る。

■令和5年度道路台帳図デジタル化

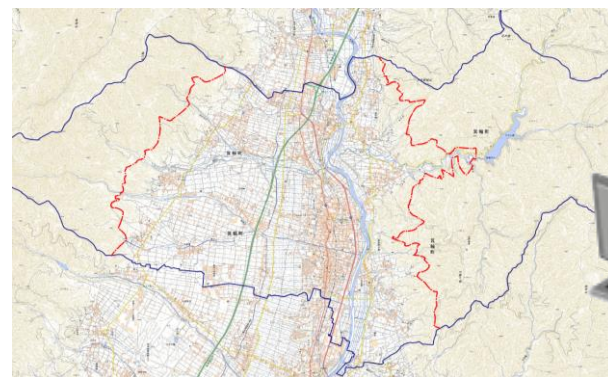
▶道路台帳図のデジタル化に併せて道路付属物（道路反射鏡、道路防犯灯等）のデータを構築し、「公開型GIS」に掲載。

②デジタルマップに関する令和6年度事業

■都市計画基本図の修正

- ▶既存の都市計画基本図の修正を行い、「公開型GIS」へ掲載、オープンデータ化することにより、窓口業務における市民等の利便性向上、ペーパーレス化による業務の効率化を図ります。
- ・地形図データ作成
 - ・都市計画総括図データ作成

【予算】都市計画基本図修正業務 26,675千円



③令和7年度以降の予定

デジタル化した道路台帳図に以下の情報を追加し、体系的に整理

■道路占用システム導入

- ▶道路占用物、その他情報の追加

32 雨水排水対策事業費

建設課（令和5年度繰越予算2,500万円対応）

①現状と事業概要

■現状

▶H20に沢・大出地区を中心とした天竜川右岸第2排水区雨水排水計画が策定されているが、近年の豪雨により桑沢川の越水による被害、護岸被害が多発。沢・大出地区は道路側溝の無い町道が多く、豪雨時に雨水を処理できず、下流に雨水が集まり、畑への雨水の流入、宅地への浸水等被害がおきている。

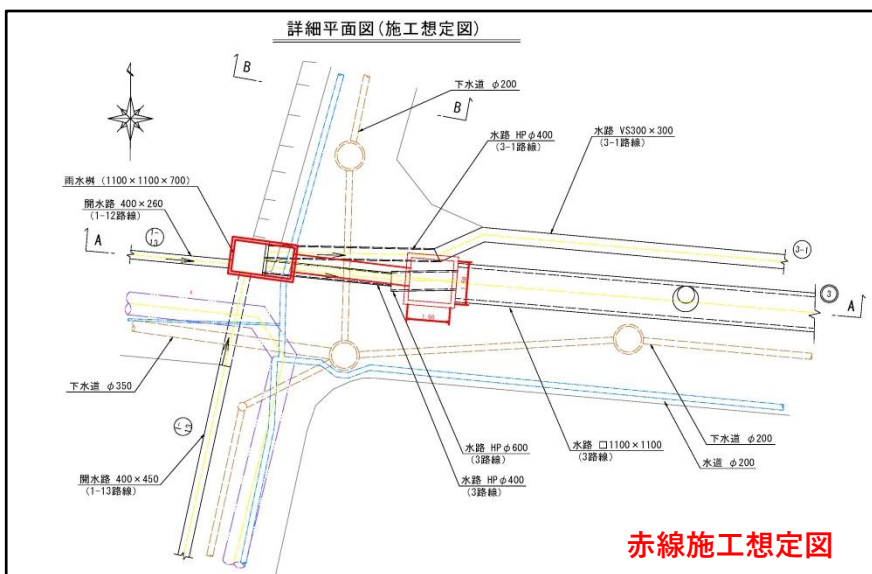
■事業概要

▶現状への対策として桑沢川への雨水排水等の流入量を抑制する為の雨水排水路を計画(雨水基幹水路の活用)し、事業実施個所の選定と実施個所の測量・実施設計及び工事の実施

▶令和5年度事業

・町道142号線既存雨水基幹水路活用のための水路接続部の改修設計及び工事

②水路接続部改修工事 事業費 委託料15,000千円 工事費10,000千円



33 重要給水管老朽管更新計画

経営の安定化・健全化
R6当初予算：221,620千円

令和2年度から実施 （補助率1/4） 全体計画 配水管布設替工 延長 13,804m

R5まで 配水管布設替工（施工済み） 延長 6,443m 進捗率 46.7%

R6 予定

- 大原配水系 高校前 登校坂 1 工区
- 大原配水系 中央道東 西天水路下 推進工 2 工区
- 大原配水系 公園橋 水管橋 3 工区

5月	6月	9月	11月	12月	2月
設計 契約	1工区→	2・3工区→	4・5工区→	1・2・3 完了	4・5 完了

R7以降

- 大原配水系 中央道迂回ルート(R7) ・ 役場周辺(R7)
- 長田配水系 長田保育園(R8) ・ 北西部多目的センター(R8)
- 富田配水系 富田公民館周辺(R7・R8 調整区間)
- 郷沢配水系 福与公民館(R9)・三日町公民館(R9)・ゆとり荘(R9)・木下公民館(R9)

【事業概要】 学校教育の喫緊の課題である不登校に対し、未然に防ぐ学級づくりに加え、早期発見、早期対応等による相談支援と学びにつながる居場所づくりなど充実します。

【内容】

- ・多様な学びの場をつなぐ「駅」的な役割として「にじいろ学びステーション」を設置し、連携を強化します。
- ・町教育指導主事により、学びステーションの機能調整を行い、支援関係者との会議等の企画、運営、等調整を行います。
- ・多様な学びコーディネータを配置、町内各校へ派遣し、SC、SSWとの日常の相談体制を強化します。
- ・不登校児童生徒等保護者の会を、町教育委員会で主催し、情報交換等を行います。
- ・町内外企業等との連携を深め、新たな学びの場、人との出会いの場を充実します。

【新規予算措置】 【多様な学びコーディネーター】配置 3,415 千円



35 令和6年度に充実する子育て世帯の経済的負担の軽減

☆ 給食食材高騰による家計負担の軽減のため交付金を交付します。

- ・給食費食材高騰支援分（児童生徒1人1食あたり30円補助） 11,721千円
- ・子育て世帯支援分（児童生徒一人あたり月1,000×10カ月(年間1万円)を補助） 19,340千円

☆ 学校行事等で使用するバス代等の値上がりによる負担を緩和するため、小中学校教育振興交付金を50万円増額交付します。

- ・令和5年度 400万円 ⇒ 令和6年度 450万円

☆ 入学準備のための入学祝い金に加え、中学校の新制服導入、部活動地域移行の進捗に併せ、新たな経済的支援を検討します。

◎ 中学校新制服導入スケジュール

- R6. 3 取り扱い業者決定
- R6. 6 デザイン決定
- R6.10 試着、採寸、予約
- R7. 3 販売
- R7. 4 新制服移行(移行期間R9年度)まで

◎ 部活動地域移行スケジュール

- R6. ～10 部活動地域移行試行準備
(保護者説明、指導者調整、指導者報酬等)
- R6. 10～ 可能な部活から地域指導者
による土日移行試行(～R7. 3)
- R7.4～ 順次「部活の地域移行」開始

36 ICT教育支援事業

ICTをツールとして学び続ける子どもの育成

令和6年度予算額

ハード関係: 44,200千円

ソフト関係: 22,400千円

人材関係: 10,800千円

77,400千円

主体的・協働的な学びに向けた授業づくり

ICT環境を活用した「教育DX推進」により子ども主体の授業へ

- 児童生徒1人1台パソコン
- 大型提示装置
- 授業支援ソフト、ドリル学習ソフト
- 情報モラルアドバイザー



新規 学校通信ネットワークアセスメント 2,420千円

デジタル教材等の利活用本格化に向けたネットワーク環境把握

全国学力・学習状況調査のCBT化、充実の一途をたどる動画教材やクラウドベースのデジタル教材の十分な活用に向けて、ネットワーク環境の現状を把握し、必要に応じた対応を行うことで、最適な環境の構築を図ります。



拡充 指導者用デジタル教科書

指導者用デジタル教科書を全小中学校へ全教科導入

教員が授業において教科書紙面等を拡大提示する際に使用する「指導者用デジタル教科書」は、動画等の多彩な教材提示が可能な場合もあり、児童生徒が興味を持ちやすく、理解を深めやすい環境づくりを行えるとともに、教職員の授業準備の負担軽減を図ることができます。



教職員支援

ICT機器の活用支援や研修等の積極的な実施

- 教育DX推進センターや指導主事による教育DX推進支援
- ICT教育支援員による小中学校の巡回
- 学芸大学連携事業による授業指導
- 教職員セキュリティ研修



37 町民体育館及び武道館の耐震改修リニューアル事業

令和6・7年度予算額 1,937,488千円

●老朽化した施設の耐震改修と長寿命化にあわせて機能強化工事を行い、安全な施設で町民スポーツ活動を行えるよう整備します。

●2028長野国民スポーツ大会のフェンシング会場に決定しているため、実施に向け整備します。

●構造耐震の指標（IS値）が向上し、避難所対応施設となり、防災力向上に寄与します。

◇リニューアル工事の主な項目

- ①武道館封じ込め済みアスベスト材の完全除去
- ②柱・梁・サッシ・外壁などの耐震改修
- ③屋根雨漏り改修
- ④照明LED化改修
- ⑤トイレユニバーサル化改修
- ⑥1階アリーナ、2階運動スペース、器具庫などを床面積増築
- ⑦空調設備（冷暖房）の新設
- ⑧Wi-Fi設備の新設
- ⑨新玄関のバリアフリー化、周辺駐車場の整備 など



避難所対応施設化

◆事業スケジュール（予定）

令和6年4月	入札公告
6月議会	本契約
6月	館内備品の引越し等
7月	工事説明会
7月下旬	工事着工
【工期18か月】	
令和8年2月	工事しゅん工
4月	リニューアルオープン
8月	北信越国民スポーツ大会



北側外観イメージ

↑
新玄関

↑
建物増築により連結一体化

↑
非常口として残置



現在の玄関（東側）



東側外観イメージ（新玄関は北側へ変更）

38 郷土博物館リニューアル開館記念事業

令和6年度予算額
2,830千円

1 オープニングイベント

9月28日(土)予定

- テープカット
- 清めの舞（古田人形三番叟）
- もみじちゃんがお出迎え



皆さんをお迎えします！

2 記念展示

10月5日(土)～14日(月・祝)

- 重要文化財「風神雷神・夏秋草図屏風」
高精緻レプリカの記念展示

東京国立博物館
文化財活用センター
から借用して
展示します。



3 記念講座

10月26日(土)

- 県立歴史館信州学出前講座
in 箕輪町郷土博物館
県立歴史館職員による縄文時代
についての講座です。



4 記念講演会

11月16日(土)又は17日(日)

- 東海大学教授（箕輪町出身）
北條芳隆先生による古墳時代の講演会
松島王墓古墳の謎に迫ります！



5 記念企画展

令和7年2月頃を予定

- 開館を記念した企画展を実施します。
（内容未定）



新しい博物館のすがた

郷土に伝わる資料を保存・活用し、「箕輪町」を知る施設として、安全で気軽に来館できる、地域に根差した博物館を目指します

図書・講座室

講座・会議時以外は
誰でも利用でき、
学びを深められま
す。



展示室

じっくり展示を見て、
箕輪の歴史・文化・自然
を知ろう！



エントランスホール

いつでも誰でも
ゆったりとした時間
をお過ごしください。



空調・トイレ

快適な空間で、ゆっ
たりとした時間をお
過ごしください！

新しい博物館の主な業務

博物館事業

各種資料を収集・保存・調査
し、
講座や展示などを
通じて皆様を紹介
します！



文化財・埋蔵文化財保護事業

町の大切な文化財の
保護や、遺跡の発掘
調査（記録保存）
を行います



町誌編纂事業

現代の箕輪町の歩みを調
査・記録することを目
として、新しい町誌
を編纂・刊行します



39 『箕輪町誌』 新現代編（仮称） 編さん事業

令和6年度予算額
111千円

過去を見つめ直し、新しい時代を拓くため、現代史の観点から町誌を編さんします！



【町政の巻（行政・社会）】（仮称）

主に昭和50年代～平成～令和の箕輪町に関する資料を収集・保管・調査し、合併による箕輪町誕生～現在までの箕輪町の歩みを記録し、伝えます。

【くらしの巻（自然・民俗）】（仮称）

私たちはどのような環境の中でどんなくらしをしてきたのか。身近な自然環境や風習・伝統行事などを記録し、その思いを後世に残します。

【故郷の巻（歴史・文化）】（仮称）

現在の箕輪町の基となった箕輪の歴史（ダイジェスト）や、今も残る先人たちの足跡を知り、現代との間に血を通わせていきます。

今後の スケジュール



R5

○博物館協議会で
町誌編さんの
考え方を協議

○事務局にて先進
地
視察（伊那市）

R6

○博物館協議会を通じて、
町誌編さん委員会（仮称）に
関する条例案の整備や編さん
委員の選考を検討。

※先進地視察（54千円）

○役場関係の行政文書の所在や
量などの確認調査を実施

※確認作業（57千円）

R7～12頃

○町誌編さん委員会（仮称）を発足し、
資料の収集・保存・調査を実施。
○町誌編さん委員会（仮称）の会議を
行い、町誌編さん・刊行に向けた準備
を実施。
○委員等による原稿の執筆、編集を経て
町誌を刊行。

40 読育推進事業 移動図書館車「ドリーム号」更新

令和6年度予算:20,968千円(一般財源20,968千円)

<現在の運行状況>

■現行車の状況

平成11年10月「ドリーム号」(25年目)※部品調達困難
三菱キャンター2トントラック改造特殊車
乗車型内書架 1,500冊積載

■運行状況

年間:約140回運行(1か月の運行日数は11日間 12回)
○地区巡回(町内6地区) 毎月
○保育園(町内6保育園) 毎月
○小学校(町内5小学校) 毎月
○その他(障がい者施設) 隔月・高齢者施設(配本)

■利用状況

令和4年度 貸出数:8,692冊(貸出図書全体の1割強)



<更新事業>

■令和5年度

【車体デザインの募集、名称の決定】

令和5年5月 町内園児・児童からデザイン画募集



令和5年9月 箕輪中学校美術部でデザイン作成



■令和6年度

車体、オーダーメイド改造費等 20,968千円

【仕様】 乗降口に車いす用リフトを設置予定

4 1 「町長への手紙」 「まちづくり地区懇談会」 予算化一覧表

町長への手紙やまちづくり地区懇談会で提案をいただいた政策や要望を担当課などで検討し、令和6年度予算等として計上した事業です。

No.	提言・要望内容	実施事業	関連 ページ	予算額 (千円)	主管課
1	危険な火の見櫓の解体をお願いしたい。	松島坂井警鐘櫓解体工事	－	619	総務課
2	結婚以前に出会いの場が少ない。	ながのマッチングシステム登録補助	13	100	企画振興課
3	様式が町ホームページにあると案内があるが、町ホームページの利便性が低い。	ホームページリニューアル	8	17,000	企画振興課
4	目的がなくてもいられる場所がないので、世代を越えて無料で触れ合える場所があったらいいと思う。	防災交流施設「みのわBASE」	14	27,672	企画振興課
5	日赤奉仕団の役員について、人が少なくなり手がいない。	役員の見直し実施 ・保健指導員の解散 ・日赤奉仕団の団員数の縮小、正副委員長の選出 方法変更	－	－	企画振興課
6	少子化対策について、箕輪町は率先して取り組んでもらいたい	こども計画（仮称）策定	25	7,710	子ども未来課
		こどもの居場所づくり推進事業	26	4,280	子ども未来課
	・もっと未来のソフト的な部分に投資する必要があるのでは。	在宅保育給付金交付事業 対象児一人につき年額36千円を上限に交付	23	6,120	子ども未来課
		乳幼児用おもつ用品購入助成事業 2歳まで 一人当たり年間3万円の購入券を支給	23	11,300	子ども未来課
		子育て支援センター 駐車場拡張整備、屋内環境整備	24	50,040	子ども未来課
		・もうすぐ第2子を出産します。育休退園の制度、見直していただけますか。	育休退園制度の廃止	23	－
	・一時預かり事業、本当に助かっています。こどもだれでも通園制度も今後利用する人が増えていくかもしれません。	こども誰でも通園制度（仮称）の試行的実施	22	－	子ども未来課
7	登下校時に利用しているみのちゃんバスですが、現在の設定時間だとギリギリなので見直しをお願いします。	令和6年4月 ダイヤ改定	－	－	住民環境課
8	農業政策について、農地を農地としてやっていくことが大切と思う。	担い手育成支援事業補助金	27	7,100	みどりの戦略課
9	農業応援団構想の中で、みのわテラスを中心に一貫性のあるような取組みをしていただきたい。	みのわテラス2期開発基本設計	32	3,000	みどりの戦略課
10	ながた自然公園の下の方、あまり手が入っていないのでは。	ながた自然公園整備計画策定	34	3,850	商工観光課
11	もみじ湖など町の観光スポットの魅力やイベントなど、色んな人にもっと知って貰えるように工夫が出来れば盛り上がると思う。	周遊パスポート	33	1,441	商工観光課
12	木下原町の交差点について、県へも要望しているが進捗は。	R5年度 詳細設計業務実施中 R6年度 用地測量業務実施	－	8,000	建設課